



# 平成 24 年度 “ふじのくに”士民協働事業仕分け (静岡県事業仕分け)

日 時：平成 24 年 10 月 13 日（土）・14 日（日） 9：50～16：50

会 場：静岡県庁別館

- ・第 1 会場 8 階第 1 会議室
- ・第 2 会場 7 階第 2 会議室
- ・第 3 会場 7 階第 4 会議室

## 傍聴される皆様へ

- 1 傍聴は、お静かにお願いします。
- 2 会場への入退場、傍聴席での席の移動は自由ですが、仕分け作業の妨げにならないよう必要最小限にしてください。
- 3 仕分けに際して、傍聴の皆様からのご質問は一切受け付けません。
- 4 仕分け作業に公然と批評を加えたり、発言や拍手その他の方法で公然と意見を表明しないでください。
- 5 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。また、会場内での私語はお控えください。
- 6 録音、写真撮影、録画については、仕分け作業、インターネット中継及び傍聴の支障にならない範囲で行ってください。
- 7 会場内の秩序を乱し、仕分け作業の支障になる行為はしないでください。これらの事項を守っていただけない場合やコーディネーター・事務局の指示に従っていただけない場合は、ご退場いただくことがあります。
- 8 建物内での喫煙、お食事は、ご遠慮ください。
- 9 建物内での移動にあたっては、一部立入禁止区域がありますので、係員の指示に従ってください。
- 10 日程表に記載されている予定時間は、当日の進行状況により前後する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

静岡県

# 目 次

|           |   |
|-----------|---|
| 実施概要      | 1 |
| 会場案内図     | 2 |
| 日程表       | 3 |
| 対象事業選定の過程 | 4 |
| 専門委員名簿    | 5 |
| 判定方法      | 6 |
| 事業シートの見方  | 7 |

## 対象事業別事業シート

### 10月13日(土) 第1会場

|                     |    |           |
|---------------------|----|-----------|
| 1 家・庭一体の住まいづくり推進事業費 | 8  | (住まいづくり課) |
| 2 ふじのくに健康増進計画推進事業費  | 14 | (健康増進課)   |
| 3 小児救急電話相談事業費       | 30 | (地域医療課)   |
| 4 病院内保育所運営費助成       | 36 | (地域医療課)   |
| 5 がん総合対策推進事業費       | 42 | (疾病対策課)   |

### 10月13日(土) 第2会場

|                     |    |            |
|---------------------|----|------------|
| 6 戦略物流ビジョン推進事業費     | 58 | (地域政策課)    |
| 7 E V・P H Vタウン推進事業費 | 66 | (エネルギー政策課) |
| 8 地域生活支援事業費         | 74 | (障害福祉課)    |
| 9 障害者施設等整備費助成       | 82 | (障害者政策課)   |
| 10 スポーツ産業振興事業費      | 88 | (商工振興課)    |

### 10月13日(土) 第3会場

|                      |     |           |
|----------------------|-----|-----------|
| 11 「大地に学ぶ」農業体験推進事業費  | 94  | (学校教育課)   |
| 12 しずおか型部活動推進事業費     | 102 | (学校教育課)   |
| 13 温室効果ガス削減対策支援事業費助成 | 110 | (環境政策課)   |
| 14 野生生物保護管理推進事業費     | 116 | (自然保護課)   |
| 15 成長産業分野人材育成支援事業費   | 124 | (職業能力開発課) |

### 10月14日(日) 第1会場

|                |     |           |
|----------------|-----|-----------|
| 16 地域外交展開事業費   | 132 | (地域外交課)   |
| 17 バス運行対策費助成   | 140 | (交通政策課)   |
| 18 消費生活行政関連事業費 | 150 | (県民生活課)   |
| 19 男女共同参画推進事業費 | 164 | (男女共同参画課) |
| 20 農業者向け制度資金   | 172 | (組合金融課)   |

### 10月14日(日) 第2会場

|                              |     |          |
|------------------------------|-----|----------|
| 21 D V防止体制強化事業費              | 184 | (こども家庭課) |
| 22 里親養育援助事業費                 | 196 | (こども家庭課) |
| 23 しずおか富2、3っ子(ふじさんっこ)推進事業費   | 208 | (こども未来課) |
| 24 子育て支援施設整備費助成              | 222 | (こども未来課) |
| 25 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業費 | 232 | (社会教育課)  |

### 10月14日(日) 第3会場

|                          |     |               |
|--------------------------|-----|---------------|
| 26 食の安全・安心向上事業費          | 240 | (衛生課)         |
| 27 食中毒等防止対策事業費           | 254 | (衛生課)         |
| 28 ふじのくに観光ブランド創出事業費      | 262 | (観光政策課・観光振興課) |
| 29 おもてなし推進事業費            | 270 | (観光政策課・観光振興課) |
| 30 就職支援キャリアカウンセラー配置事業費助成 | 278 | (私学振興課)       |

# 実施概要

## 1 概要

昨年度導入した「県民参加型」事業仕分けの手法を踏襲しつつ、本県独自の県民の参画機会を拡充する手法を加えた静岡型の事業仕分けを実施する。

## 2 目的

- (1) 県民意見に基づく施策や事業の見直し
- (2) 県民の県政への理解促進及び信頼感の醸成、県政参加意識の向上

## 3 実施内容

- (1) 実施日 平成24年10月13日(土)、14日(日)
- (2) 対象事業数 30事業(5事業×3班×2日)
- (3) 体制 1班(1会場)あたり  
コーディネーター1人  
・進行役  
専門委員4人  
・県職員への質問や議論を行う方  
県民評価者40人程度  
・議論を聞いた上で多数決により評価、判定を行う方
- (4) 作業時間 1事業あたり60分
- (5) その他 インターネットを活用してライブ中継や意見募集を実施

### (参考) 県民評価者

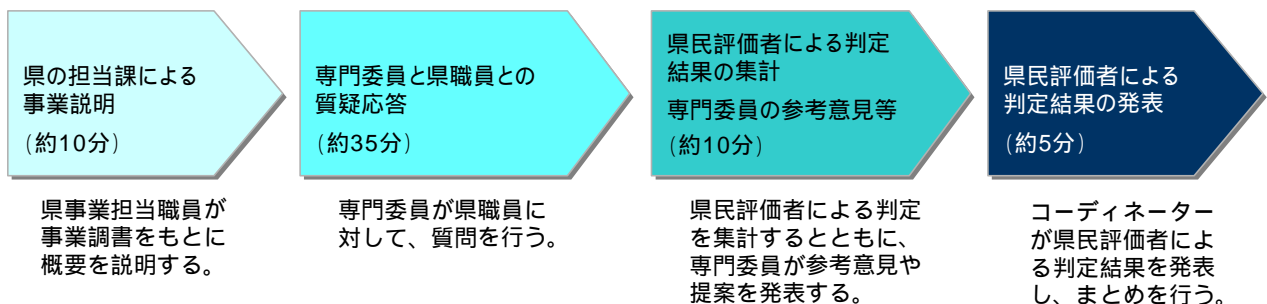
無作為に抽出した県民6,000人に募集案内を送付し、応募のあった455人を対象に抽選により250人を決定

- ・男女別 男性151人、女性99人

|      |     |     |     |     |     |     |     |      |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| ・年代別 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 合計   |
|      | 20人 | 35人 | 51人 | 41人 | 72人 | 27人 | 4人  | 250人 |

- ・地域別 東部84人、中部81人、西部85人

## 4 仕分け作業の流れ



仕分けの結果はそのまま県の最終判断となるものではありません。  
仕分けの結果や議論の内容を踏まえて検討を行い、県の方針を決定するための参考とするものです。

### (参考) 「土民」

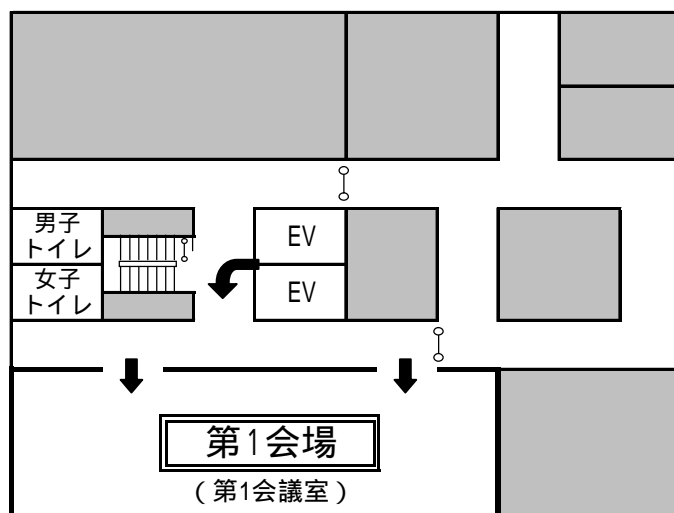
「土民」とは、富国有徳の志を持った人々で、豊かさの集積を「富」、廉直な心を堅持する者のことを「土」とし、両者を兼ね備えた「富士」から引用している。

# 会場案内図（静岡県庁別館）

県庁本館側

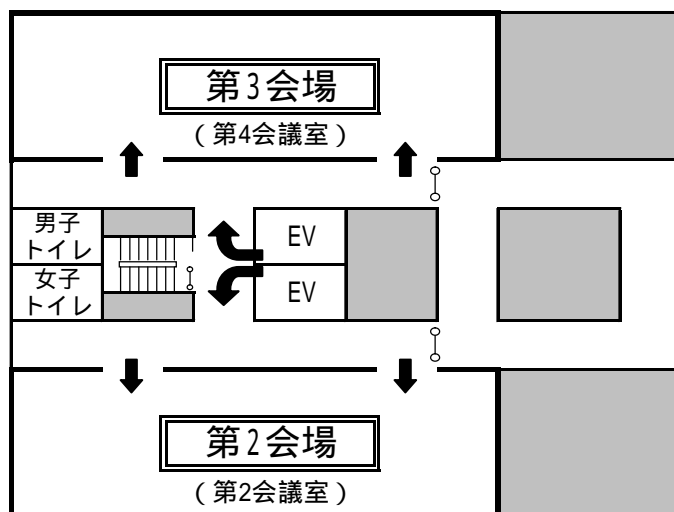
8階

第1会場



7階

第2会場  
第3会場

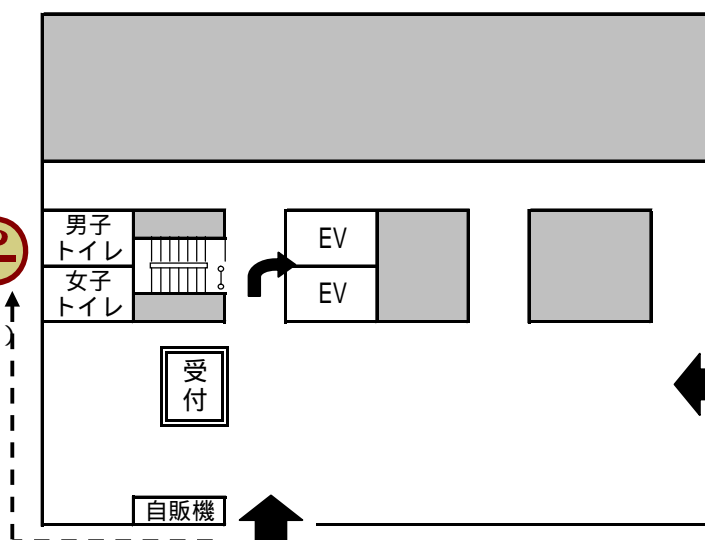


駿府公園側

1階

受付・案内

喫煙場所  
(建物の外)



別館出入口

青葉駐車場側

# 平成24年度“ふじのくに”市民協働事業仕分け 日程表

【第1日目】 10月13日(土)

| 予定時間          | 第1会場 (県庁別館8階第1会議室) |                   | 第2会場 (県庁別館7階第2会議室) |                | 第3会場 (県庁別館7階第4会議室) |                   |
|---------------|--------------------|-------------------|--------------------|----------------|--------------------|-------------------|
|               | No                 | 事業名               | No                 | 事業名            | No                 | 事業名               |
| 9:50 ~ 10:05  |                    | 開会式               |                    |                |                    |                   |
| 10:10 ~ 11:10 | 1                  | 家・庭一体の住まいづくり推進事業費 | 6                  | 戦略物流ビジョン推進事業費  | 11                 | 「大地に学ぶ」農業体験推進事業費  |
| 11:15 ~ 12:15 | 2                  | ふじのくに健康増進計画推進事業費  | 7                  | EV・PHVタウン推進事業費 | 12                 | しずおか型部活動推進事業費     |
| 12:15 ~ 13:05 |                    | 昼食・休憩             |                    | 昼食・休憩          |                    | 昼食・休憩             |
| 13:05 ~ 14:05 | 3                  | 小児救急電話相談事業費       | 8                  | 地域生活支援事業費      | 13                 | 温室効果ガス削減対策支援事業費助成 |
| 14:10 ~ 15:10 | 4                  | 病院内保育所運営費助成       | 9                  | 障害者施設等整備費助成    | 14                 | 野生生物保護管理推進事業費     |
| 15:10 ~ 15:25 |                    | 休憩                |                    | 休憩             |                    | 休憩                |
| 15:25 ~ 16:25 | 5                  | がん総合対策推進事業費       | 10                 | スポーツ産業振興事業費    | 15                 | 成長産業分野人材育成支援事業費   |
| 16:40 ~ 16:50 |                    | 閉会式               |                    |                |                    |                   |

【第2日目】 10月14日(日)

| 予定時間          | 第1会場 (県庁別館8階第1会議室) |             | 第2会場 (県庁別館7階第2会議室) |                           | 第3会場 (県庁別館7階第4会議室) |                        |
|---------------|--------------------|-------------|--------------------|---------------------------|--------------------|------------------------|
|               | No                 | 事業名         | No                 | 事業名                       | No                 | 事業名                    |
| 9:50 ~ 10:05  |                    | 開会式         |                    |                           |                    |                        |
| 10:10 ~ 11:10 | 16                 | 地域外交展開事業費   | 21                 | DV防止体制強化事業費               | 26                 | 食の安全・安心向上事業費           |
| 11:15 ~ 12:15 | 17                 | バス運行対策費助成   | 22                 | 里親養育援助事業費                 | 27                 | 食中毒等防止対策事業費            |
| 12:15 ~ 13:05 |                    | 昼食・休憩       |                    | 昼食・休憩                     |                    | 昼食・休憩                  |
| 13:05 ~ 14:05 | 18                 | 消費生活行政関連事業費 | 23                 | しずおか富2、3っ子(ふじさんっこ)推進事業費   | 28                 | ふじのくに観光ブランド創出事業費       |
| 14:10 ~ 15:10 | 19                 | 男女共同参画推進事業費 | 24                 | 子育て支援施設整備費助成              | 29                 | おもてなし推進事業費             |
| 15:10 ~ 15:25 |                    | 休憩          |                    | 休憩                        |                    | 休憩                     |
| 15:25 ~ 16:25 | 20                 | 農業者向け制度資金   | 25                 | 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業費 | 30                 | 就職支援キャリアアカウンタラー配置事業費助成 |
| 16:40 ~ 16:50 |                    | 閉会式         |                    |                           |                    |                        |

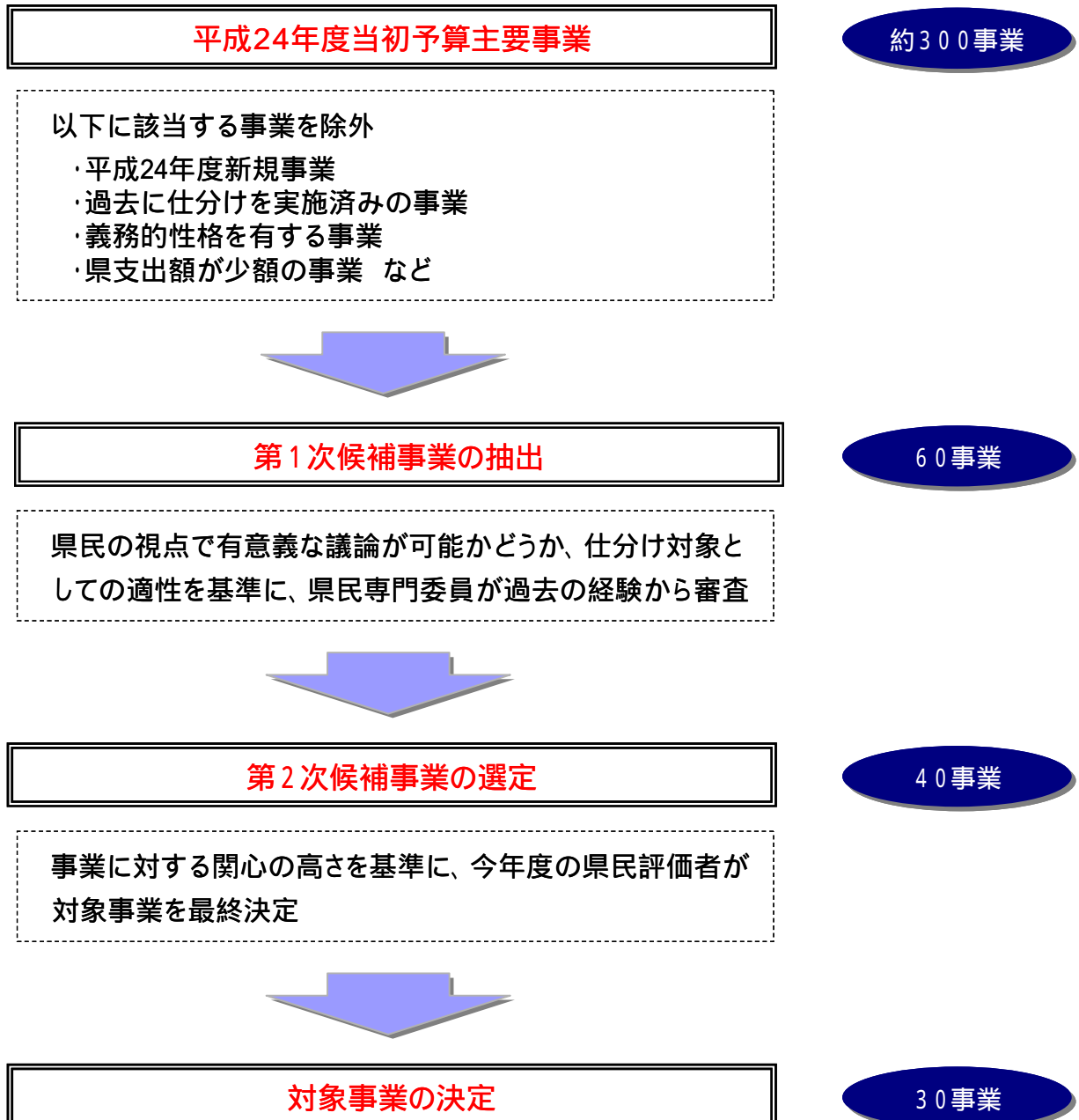
日程は、仕分け作業の進行状況により前後する場合があります。

# 対象事業選定の過程

## 1 概要

事業仕分けを通じて県事業に対する理解促進を図るため、平成24年度当初予算における主要事業（約300事業）の中から段階的に候補事業の絞り込みを行い、最終的に今年度の県民評価者が対象事業を決定した。

## 2 選定の流れ



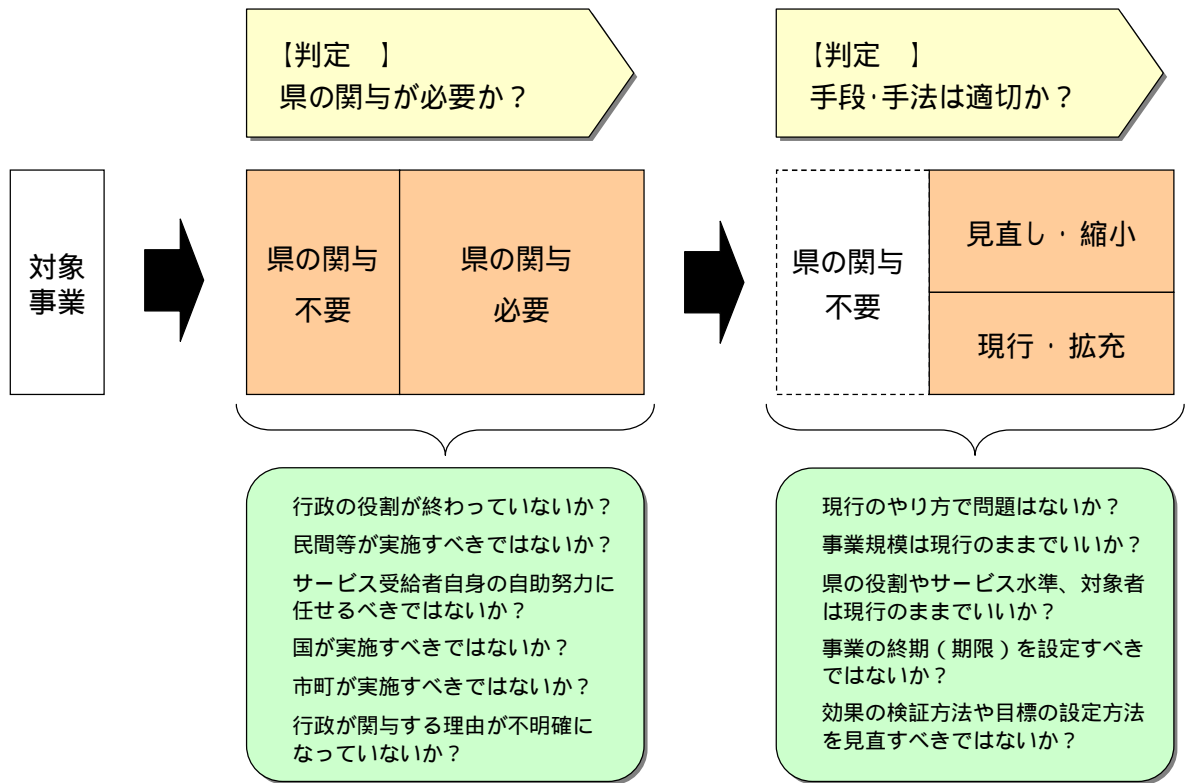
## 専門委員名簿

| 日付        | 班名            | 番号 | 氏名     | 性別 | 区分           | 所属等                               |
|-----------|---------------|----|--------|----|--------------|-----------------------------------|
| 10月13日(土) | 第1班<br>(第1会場) | 1  | 伊藤 伸   | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 構想日本政策担当ディレクター<br>内閣府行政刷新会議事務局参事官 |
|           |               | 2  | 露木 幹也  | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 小田原市建設政策課長                        |
|           |               | 3  | 堀見 和道  | 男  | 行財政改革推進委員会委員 | 株式会社堀見総合研究所代表取締役                  |
|           |               | 4  | 高塚 年明  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 著述業<br>元参議院行政監視委員会首席調査員           |
|           |               | 5  | 河原 みち代 | 女  | 仕分け経験者(県民)   | みらいネット浜松代表                        |
|           | 第2班<br>(第2会場) | 1  | 荒井 英明  | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 厚木市産業振興部次長                        |
|           |               | 2  | 福嶋 浩彦  | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 中央学院大学教授<br>前消費者庁長官               |
|           |               | 3  | 高木 敦子  | 女  | 行財政改革推進委員会委員 | NPO法人地域づくりサポートネット副代表理事            |
|           |               | 4  | 猪浦 玲子  | 女  | 仕分け経験者(県民)   | 主婦                                |
|           |               | 5  | 市川 卓志  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 公認会計士・税理士                         |
|           | 第3班<br>(第3会場) | 1  | 石井 聡   | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 逗子市秘書広報課秘書係長                      |
|           |               | 2  | 熊谷 哲   | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 内閣府行政刷新会議事務局次長                    |
|           |               | 3  | 斉藤 寿規  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | まち創り研究所所長                         |
|           |               | 4  | 小林 芽里  | 女  | 仕分け経験者(県民)   | NPO法人浜松NPOネットワークセンター事務局長          |
|           |               | 5  | 小澤 恵右  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 静岡英和女学院非常勤講師                      |
| 10月14日(日) | 第1班<br>(第1会場) | 1  | 伊藤 伸   | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 構想日本政策担当ディレクター<br>内閣府行政刷新会議事務局参事官 |
|           |               | 2  | 露木 幹也  | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 小田原市建設政策課長                        |
|           |               | 3  | 小櫻 義明  | 男  | 行財政改革推進委員会委員 | 静岡大学人文学部名誉教授                      |
|           |               | 4  | 袴田 郁也  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 会社員                               |
|           |               | 5  | 小松 秀雄  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 元会社役員                             |
|           | 第2班<br>(第2会場) | 1  | 荒井 英明  | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 厚木市産業振興部次長                        |
|           |               | 2  | 藤城 眞   | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 内閣府行政刷新会議事務局次長                    |
|           |               | 3  | 寺田 正捷  | 男  | 行財政改革推進委員会委員 | 浜松大学講師<br>元福田町長                   |
|           |               | 4  | 西澤 和倫  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 医師                                |
|           |               | 5  | 石澤 きのゑ | 女  | 仕分け経験者(県民)   | 藤枝市地域公共交通会議委員<br>藤枝市社会福祉協議会理事     |
|           | 第3班<br>(第3会場) | 1  | 石井 聡   | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 逗子市秘書広報課秘書係長                      |
|           |               | 2  | 熊谷 哲   | 男  | 構想日本仕分け人チーム  | 内閣府行政刷新会議事務局次長                    |
|           |               | 3  | 長澤 弘子  | 女  | 仕分け経験者(県民)   | NPO法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所理事長        |
|           |               | 4  | 松浦 英泰  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 会社員                               |
|           |               | 5  | 原木 一義  | 男  | 仕分け経験者(県民)   | 藤枝市藤枝公民館館長                        |

各班「番号1」はコーディネーター

# 判定方法（考え方）

仕分けの判定を行う際の考え方（判定シートを書く上で考える順番）



# 判定方法（班としての結論の出し方）

「 県の関与が必要か？」、「 手段・手法は適切か？」  
の各段階で多数の区分を採用

県民評価者による判定結果を集計

まず、「 県の関与が必要か？」について、多数の区分を採用

- 「不要」が多数であれば、結論は「不要」
- 「必要」が多数であれば、次の段階へ

「 手段・手法は適切か？」について、多数の区分を採用

- 「見直し・縮小」、「現行・拡充」のどちらか

判定結果が同数の場合には、両方が結論

例示1（通常パターン）

|            |    |           |    |
|------------|----|-----------|----|
| 県の関与<br>不要 | 10 |           |    |
| 県の関与<br>必要 | 20 | 見直し<br>縮小 | 15 |
|            |    | 現行<br>拡充  | 5  |

< 結論 >  
県の関与必要（見直し・縮小）

例示2（同数パターン）

|            |    |           |    |
|------------|----|-----------|----|
| 県の関与<br>不要 | 15 |           |    |
| 県の関与<br>必要 | 15 | 見直し<br>縮小 | 12 |
|            |    | 現行<br>拡充  | 3  |

< 結論 >  
県の関与不要 +  
県の関与必要（見直し・縮小）



# 事業シートの見方

事業番号 1

事業シート（概要説明書）

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 1 事業概要                  |  |
| 予算事業名                   | 部署名  |
| 事業開始年度                  | 終了予定年度   |
| 担当課名                    | 作成責任者  |
| 根拠法令                    |  |
| 総合計画における位置付け<br>(主たるもの) | 大分類（戦略）  |
|                         | 中分類（戦略の柱）  |
|                         | 小分類（施策の方向）   |
| 目的<br>(何のために)           |  |
| 対象<br>(何を対象に)           |  |
| 実施方法                    | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> その他<br>実施主体、委託先 ( ) |
| 事業内容（手段、手法の中心）          |  |
|                         |  |
| 事業の必要性<br>(廃止した場合の影響)   |  |
| これまでの改善・見直しの状況          |  |

事業名や開始年度、事業の根拠となる法令、静岡県総合計画における位置付け、事業の目的等を記載しています。

事業の実施方法や内容を記載しています。  
実施方法欄の説明は次のとおりです。

- ・直接実施：県が直接事業を実施している
- ・業務委託：県が外部へ委託して事業を実施している
- ・指定管理：民間事業者を含む幅広い団体の中から、県が指定するものに施設の管理運営を代行させている
- ・補助金等：事業に必要な経費の全額又は一部を県が補助し、市町や団体などが事業を実施している

事業の必要性や廃止した場合の影響のほかに、これまでの改善・見直しの状況を記載しています。

# 事業シートの見方

事業番号 1

2 事業費・人件費（インプット） (単位：千円)

| 区分       |         | H22 決算 | H23 決算 | H24 予算 |
|----------|---------|--------|--------|--------|
| 事業費      | 事業費計①   |        |        |        |
|          | 国支出金    |        |        |        |
|          | 地方債     |        |        |        |
| 内訳       | その他 ( ) |        |        |        |
|          | 一般財源    |        |        |        |
| 人件費      | 職員数(人工) | 人      | 人      | 人      |
|          | 人件費計②   |        |        |        |
| 総コスト ①+② |         |        |        |        |

3 事業の主たる活動指標（アウトプット）・効率指標（単位当りコスト）

| 区分                            | 指標 | 単位 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|-------------------------------|----|----|--------|--------|--------|
| 活動指標                          |    |    |        |        |        |
| 効率指標<br>(単位当りコスト)<br>コスト/活動指標 |    |    |        |        |        |

4 事業の主たる成果指標（アウトカム）

| 区分          | 指標 | 単位 | H25 目標 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|-------------|----|----|--------|--------|--------|--------|
| 成果指標        |    |    |        |        |        |        |
| 成果指標を補完する指標 |    |    |        |        |        |        |

5 自己評価

| 区分             | 内容                    |
|----------------|-----------------------|
| 事業の自己評価        | 活動指標の実績に対する評価、今後の見直し  |
|                | 単位当りコストの削減は図られているか    |
|                | 活動指標は成果指標と連携して実施しているか |
| 今後の方向性や改善方法、課題 |                       |

事業を実施するために、投入しているコスト（費用）を示しています。  
総コストは事業費と人件費を合算したものです。  
なお、人件費は、その事業に従事する職員数に県職員の平均給与を乗じた概算額です。

活動指標とは、投入された総コスト（事業費＋人件費）によって、産み出された活動実績を示したものです。  
また、効率指標とは、投入されたコストの効率性を示すもので、コストを活動指標（実績）で除したものです。

成果指標とは、最終的に実現したい状況を数値化したもので、総合計画に掲げる目標値を記載しています。  
また、成果指標を補完する指標とは、中間的又は補完的な指標を設定している場合に記載します。

上記「2 事業費・人件費（インプット）」「3 活動指標（アウトプット）」「4 成果指標（アウトカム）」を踏まえ、活動実績に対する評価、コスト削減、活動実績と成果の関連性についての自己評価の記載のほか、今後の方向性、課題などを記載しています。

事業シート（概要説明書）

1 事業概要

|                         |  |                        |       |         |       |
|-------------------------|--|------------------------|-------|---------|-------|
| 予算事業名                   | 戦略物流ビジョン推進事業費                                    |                        | 部局名   | 企画広報部   |       |
| 事業開始年度                  | 平成 23  | 終了予定年度                 | -     | 担当課名    | 地域政策課 |
| 根拠法令                    |  |                        | 作成責任者 | 課長 長澤由哉 |       |
| 総合計画における位置付け<br>(主たるもの) | 大分類(戦略)  | 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造  |       |         |       |
|                         | 中分類(戦略の柱)  | 次世代産業の創出               |       |         |       |
|                         | 小分類(施策の方向)                                       | ふじのくに新産業創出プロジェクトの推進    |       |         |       |
|                         | 細分類(施策群)   | 空港、新東名、港湾等を活かした物流産業の振興 |       |         |       |
| 目的<br>(何のために)           | 平成 24 年 3 月に策定した「ふじのくに戦略物流ビジョン」の官民連携による円滑な推進を図る。 |                        |       |         |       |
| 対象<br>(何を対象に)           | 民間企業、行政関係者等                                      |                        |       |         |       |
| 実施方法                    | 直接実施   | 業務委託                   | 指定管理  | 補助金等    | その他   |
|                         | 実施主体、委託先(未定)                                     |                        |       |         |       |

1 事業目的

「ふじのくに戦略物流ビジョン」(平成 24 年 3 月策定)の周知と着実な推進を図るとともに、「内陸における物流機能を活かした新たな地域づくり」について検討を行う。

2 事業概要

(単位：千円)

| 項目                     | 内容   | H24 事業費 |
|------------------------|--|---------|
| ふじのくにロジスティクス地域フォーラムの開催 | ビジョンの周知、各地域の産業等の特性に応じた物流の取組促進、情報・意見交換を行う。<br>・ 開催地：県内 3 地域(東部・中部・西部)<br>・ 対象：物流企業、荷主企業、行政関係者等<br>・ 内容：基調講演、企業による事例紹介、情報・意見交換 | 4,000   |
| 物流機能を活かした新たな地域づくりの検討   | 新東名高速道路 IC 周辺等における、食品等の物流拠点を核とした地域づくりのあり方について検討し、地域モデルを策定する。   | 8,000   |
| 合計                     |  | 12,000  |

事業内容(手段、手法など)

事業の必要性  
(廃止した場合の影響)

物流は、産業活動や暮らしに密接に関わるものであり、静岡県のもつ物流の優位性を活かした物流ビジョンの取組を官民連携で推進し、新たな産業や雇用の創出、地域の活性化につなげていく必要がある。

これまでの改善・見直しの状況

## 事業番号 6

### 2 事業費・人件費（インプット）

（単位：千円）

| 区 分       |         | H22 決算 | H23 決算 | H24 予算 |  |
|-----------|---------|--------|--------|--------|--|
| 事業費       | 事業費計    |        | 11,643 | 12,000 |  |
|           | 財源内訳    | 国支出金   |        |        |  |
|           |         | 地方債    |        |        |  |
|           |         | その他（ ） |        |        |  |
|           | 一般財源    |        | 11,643 | 12,000 |  |
| 人件費       | 職員数（人工） | 人      | 2.1人   | 1.15人  |  |
|           | 人件費計    |        | 14,700 | 7,935  |  |
| 総コスト（ + ） |         |        | 26,343 | 19,935 |  |

### 3 事業の主たる活動指標（アウトプット）・効率指標（単位当たりコスト）

| 区 分                            | 指 標              | 単位 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|--------------------------------|------------------|----|--------|--------|--------|
| 活動指標                           | シンポジウム・フォーラム参加者  | 人  |        | 308    | 300    |
|                                | ふじのくに戦略物流ビジョンの策定 | 件  |        | 1      | -      |
|                                | 地域づくりモデルパターンの策定  | 箇所 |        | -      | 3      |
| 効率指標<br>（単位当たりコスト）<br>コスト/活動指標 | シンポジウム・フォーラム参加者  | 千円 |        | 7.7    | 23.7   |
|                                | ふじのくに戦略物流ビジョンの策定 | 千円 |        | 23,957 | -      |
|                                | 地域づくりモデルパターンの策定  | 千円 |        | -      | 4,277  |

### 4 事業の主たる成果指標（アウトカム）

| 区 分             | 指 標                    | 単位  | H31 目標 | H22 実績 | H23 実績              | H24 見込 |
|-----------------|------------------------|-----|--------|--------|---------------------|--------|
| 成果指標            | 県内総生産（名目）              | 百万円 | 20兆円   |        | 15,433,180<br>（速報値） | -      |
|                 |                        |     |        |        |                     |        |
| 成果目標を<br>補完する指標 | 県内総生産（名目）のうち産業「運輸・通信業」 | 百万円 | 1.2兆円  |        | 973,897<br>（速報値）    | -      |
|                 |                        |     |        |        |                     |        |

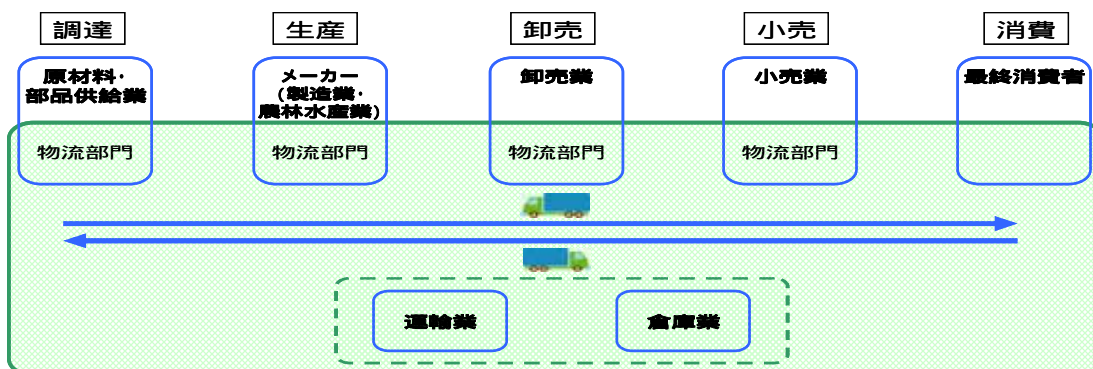
### 5 自己評価

|         | 区 分                  | 内 容  |
|---------|----------------------|--|
| 事業の自己評価 | 活動指標の実績に対する評価、今後の見通し | 県内3地域での地域フォーラムを開催し、地域の産業の特性に応じた物流への取組を促進し、ビジョンの具体化を図る。また、物流拠点としてポテンシャルの高まっている新東名 IC 周辺等において、物流の視点からの新たな魅力ある地域づくりを推進する。 |
|         | 単位当たりコストの削減は図られているか  | 前年度のシンポジウムはビジョンの周知を図るために、1箇所で大規模に行ったが、今年度は荷主企業、物流企業の意識啓発を目的として、開催箇所を増やし、かつ少人数による開催としたため、コスト増加となっている。                   |
|         | 活動指標は成果指標進捗へ寄与しているか  | フォーラムを通じ、民間企業の物流の効率化・高度化を促進することにより、モノの付加価値を高める産業としての物流産業が発展し、それが既存産業の成長を促進し、雇用の創出等による県内総生産の増加に寄与する。                    |
|         | 今後の方向性や改善方法、課題       | ビジョンを官民連携で着実に推進し、物流の効率化・高度化を図る。それにより、物流産業をはじめとした県内産業の発展を促し、新たな産業や雇用の創出につなげていく。   |

# 事業番号 6

## 1 物流とは

- ・ 物流は原材料等の調達から消費者への輸送までを担うものである。
- ・ 物流は産業活動や暮らしに密接に関わっており、産業振興や県民生活を向上させる上で、重要な役割を担っている。



## 2 静岡県における物流の優位性

### < 地理的条件 >

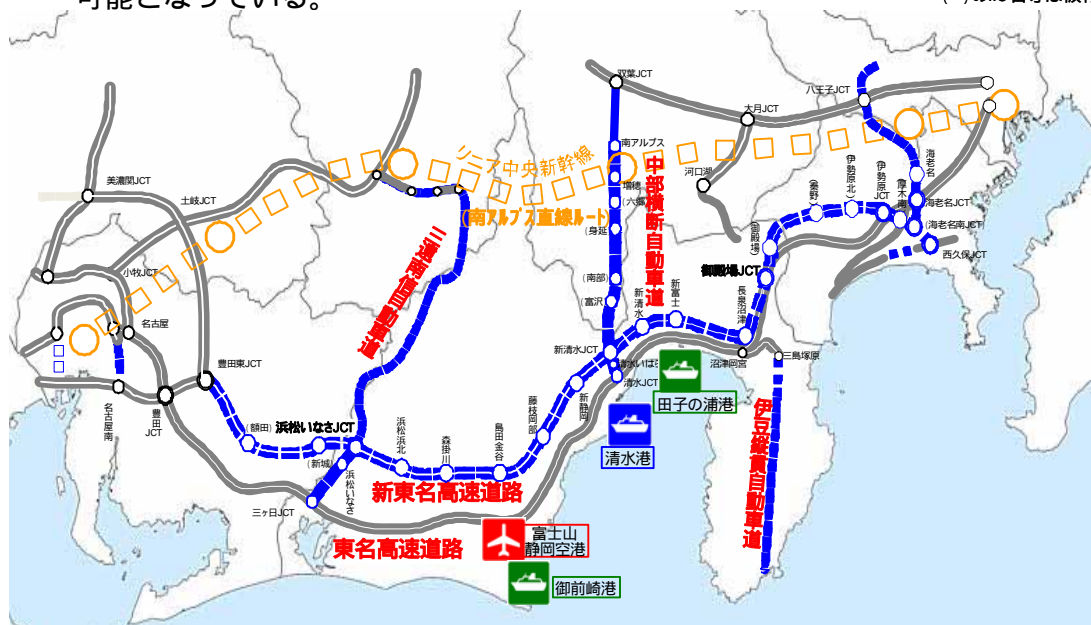
- ・ 静岡県は、首都圏、中京圏、近畿圏のほぼ中央に位置している。
- ・ 300 km圏内に日本の人口の6割、GDPの7割が集中している。



| 地域      | 域内総生産<br>(平成21年度) |       | 人口<br>(平成24年3月現在) |       |
|---------|-------------------|-------|-------------------|-------|
|         | 兆円                | 対全国比  | 万人                | 対全国比  |
| 300Km圏内 | 339               | 70.2% | 8,343             | 65.9% |
| 関東      | 191               | 39.5% | 4,485             | 35.4% |
| 中部      | 73                | 15.1% | 1,797             | 14.2% |
| 近畿      | 75                | 15.5% | 2,061             | 16.3% |

### < 充実した交通ネットワーク >

- ・ 充実した道路網（新東名高速道路、東名高速道路、中部横断自動車道、三遠南進自動車道）が整っている。
- ・ 清水港、御前崎港から世界各国へ定期航路を有している。
- ・ 富士山静岡空港から国際航空ネットワークを活用して、世界各地への多様な貨物輸送が可能となっている。

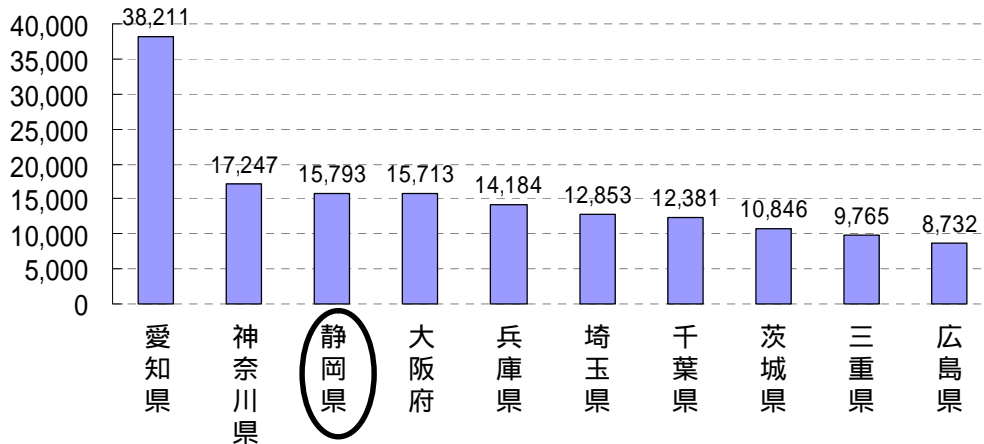


< 全国屈指のものづくり県 >

- ・ 静岡県は製造品出荷額等全国第 3 位のものづくり県である。

(単位：十億円)

< 静岡県の製造品出荷額等の全国順位 >



資料：工業統計調査  
(平成 22 年)  
(経済産業省)

< 高品質な農林水産物 >

- ・ 静岡県の農林水産物品目数は 219 品目で全国第 1 位である。
- ・ 産出額全国上位の農産物、水産物が数多くある。

< 農業産出額が全国上位の農産物 >

| 全国順位 | 品目別                        | 品目数 |
|------|----------------------------|-----|
| 1    | 茶( ), わさび、ガーベラ             | 3   |
| 2    | みかん、チンゲンサイ、<br>ばら、セルリー、切り枝 | 5   |
| 3    | 洋ラン(鉢)、観葉植物(鉢)             | 2   |
| 4    | メロン                        | 1   |
| 5    |                            |     |
| 6    | いちご、レタス、きく、<br>ばれいしょ、たまねぎ  | 5   |
| 7    | かんしょ、さといも                  | 2   |

< 漁業産出額が全国上位の水産物 >

| 全国順位 | 魚種    | 品目数                     |   |
|------|-------|-------------------------|---|
| 1    | 海面漁業  | きはだ、その他のえび類、<br>かつお、しらす | 5 |
|      | 海面養殖業 | まあじ                     |   |
| 2    | 海面漁業  | あさり類                    | 1 |
| 3    | 海面漁業  | みなみまぐろ、びんなが、<br>めばち、さば類 | 4 |

海面漁業、海面養殖業について生産額が全国  
3 位以内の水産物を表示

資料：漁業生産額(平成 22 年)(農林水産省)

(静岡県農業産出額 30 位までの品目対象)

茶 = 生茶 + 荒茶として 1 品目でカウント

資料：生産農業所得統計(平成 22 年)(農林水産省)

3 静岡県における物流の課題

< 地域における物流の課題 >

- ・ 東日本大震災を踏まえた災害に強い物流体制の強化
- ・ 共同配送や IT 化など新たな物流システムの導入による物流の効率化
- ・ 買い物弱者への安定的な供給できる物流システムの整備
- ・ 住環境に配慮した物流施設の適正な配置
- ・ 新東名高速道路 IC 周辺地域への物流に着目した取組

< 産業における物流の課題 >

- ・ 高品質な農林水産物のブランド化や 6 次産業化を支える物流機能の充実
- ・ 高度な産業活動を支える高度な物流機能の充実
- ・ 高度な物流サービスを行う物流企業の誘致・育成

< 交通における物流の課題 >

- ・ 充実した道路網を活用した広域物流の促進
- ・ 県外港を利用しているコンテナ貨物の駿河湾港の利用促進
- ・ ハブ空港への就航を活用した富士山静岡空港の利用促進

< 環境における物流の課題 >

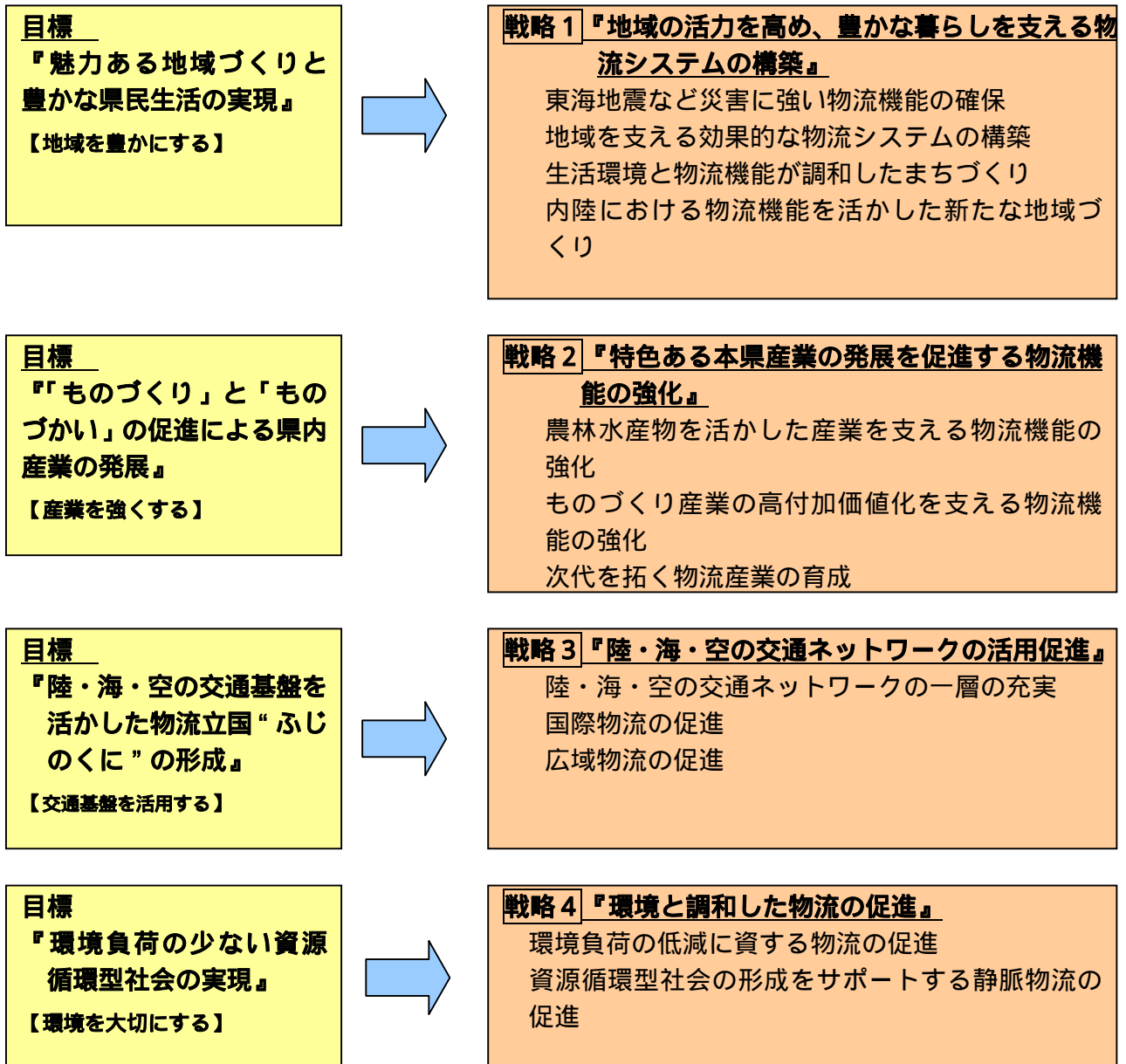
- ・ 地球温暖化防止に対応した物流機能の導入
- ・ 静脈物流の効率化による資源循環利用の促進

4 ふじのくに戦略物流ビジョンの内容

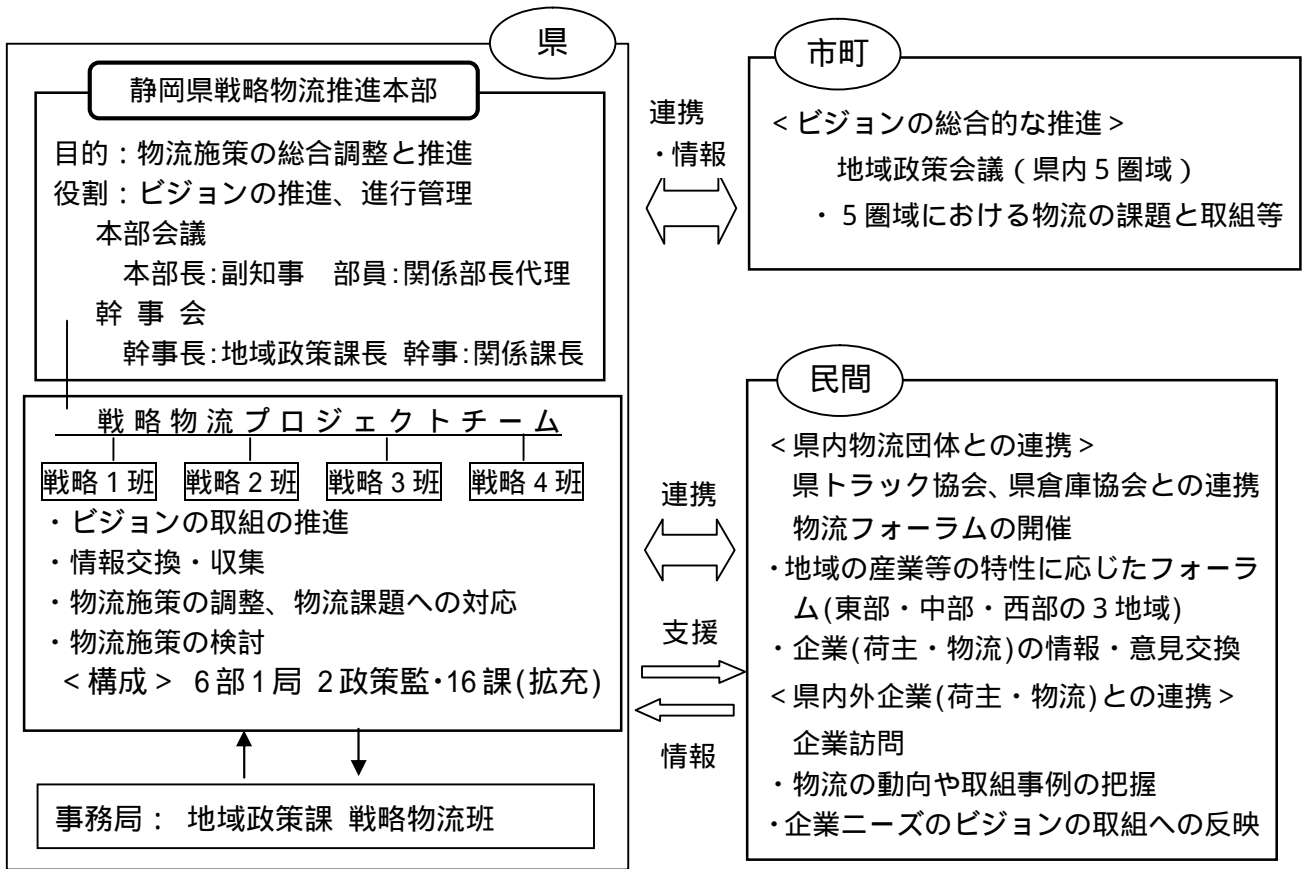
(1) 基本テーマ

**『生産から消費までのモノの流れの視点による新産業の創出と地域経済の活性化』**

(2) ビジョンの体系



5 ふじのくに戦略物流ビジョンの推進体制



6 ふじのくにロジスティクス地域フォーラムの開催

(1) 目的

- 戦略物流ビジョンの周知
- 各地域の産業等の特性に応じた物流の取組の促進
- 物流の効率化・高度化に取り組む荷主企業と物流企業の情報・意見交換の場の提供

(2) 概要

- ア 日時 平成24年8月～10月
- イ 場所 県内3箇所(東部・中部・西部)
- ウ 参加者 各100人(県内各地域に拠点を置く県内外企業(物流・荷主)、経済団体、行政関係者等)
- エ 主催 静岡県
- オ 共催 静岡県トラック協会、静岡県倉庫協会
- カ 内容 基調講演、企業による事例紹介、情報・意見交換(パネルディスカッション方式)
- キ 全体テーマ 『ものづくり産業における今後の物流の展望』
- 各地域テーマ

| 地域      | 東部                            | 中部                             | 西部                                   |
|---------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| テーマ(業種) | ものづくり産業と物流<br>(医療・医薬品、産業用機械等) | 食品関連産業と物流<br>(農林水産、食品加工、卸・小売等) | ものづくり産業と物流<br>(光・電子技術関連、輸送用機械、電気機械等) |

ク 効果

- ・各地域の産業と物流のあり方について、事例紹介や、荷主企業と物流企業による情報・意見交換を行うことにより、物流の効率化・高度化を促進する。

(3) 開催実績

<ふじのくにロジスティクス東部地域フォーラム>

- ア 日時 平成 24 年 8 月 8 日
- イ 場所 沼津リバーサイドホテル
- ウ 参加者 115 人（民間企業、経済団体、大学、行政関係者）
- エ 内容

| 区分        | 発表者               | タイトル                                |
|-----------|-------------------|-------------------------------------|
| 基調講演      | 国立大学法人東京海洋大学 苦瀬教授 | 「人々の暮らしを支えるロジスティクス」                 |
| 企業による事例紹介 | アステラスファーマテック（株）   | 「医薬品物流の現状と課題」                       |
|           | 不二運輸（株）           | 「時流と地域特性を生かしたものづくりを応援する物流戦略」        |
|           | （株）富士ロジテック        | 「ロジスティクスの再構築方法」                     |
|           | 船村興産倉庫（株）         | 「営業倉庫のお仕事」                          |
| 情報・意見交換   | 基調講演、事例紹介者        | 「東部地域の産業と物流の発展に向けて - 物流の効率化・高度化 - 」 |

<ふじのくにロジスティクス西部地域フォーラム>

- ア 日時 平成 24 年 9 月 10 日
- イ 場所 ホテルクラウンパレス浜松
- ウ 参加者 166 人（民間企業、経済団体、大学、行政関係者）
- エ 内容

| 区分        | 発表者               | タイトル                                |
|-----------|-------------------|-------------------------------------|
| 基調講演      | 国立大学法人東京海洋大学 兵藤教授 | 「統計から見る物流の動向と新東名への期待」               |
| 企業による事例紹介 | ウェルポート（株）         | 「事業紹介と業界未来」                         |
|           | 遠州トラック（株）         | 「これからの物流業界と静岡県物流体制」                 |
|           | 清和海運（株）           | 「荷主様と共同で取り組んだ改善事例の紹介及び当社の海外戦略」      |
|           | ヤマハ（株）            | 「グローバル物流の課題と取組」                     |
| 情報・意見交換   | 基調講演、事例紹介者        | 「西部地域の産業と物流の発展に向けて - 物流の効率化・高度化 - 」 |

【参考】ふじのくにロジスティクスシンポジウムの開催結果

- ア 日時 平成 24 年 3 月 22 日
- イ 場所 しずぎんホールユーフォニア
- ウ 参加者 308 人（民間企業、経済団体、大学、行政関係者）
- エ 参加者アンケート結果

・「ふじのくに戦略物流ビジョン」の目指す地域産業の発展や豊かな県民生活の実現について、理解が深まった。

| 区分             | 思う          | 思わない      | どちらともいえない   |
|----------------|-------------|-----------|-------------|
| 地域産業の発展の可能性    | 94 人（70.1%） | 7 人（5.2%） | 26 人（19.4%） |
| 豊かな県民生活の実現の可能性 | 90 人（67.2%） | 7 人（5.2%） | 23 人（17.2%） |



7 物流機能を活かした新たな地域づくりの検討

- ・ふじのくに戦略物流ビジョンの戦略1「内陸における物流機能を活かした新たな地域づくり」では、物流拠点としてポテンシャルの高まっている新東名高速道路IC周辺等において、物流の視点からの新たな魅力ある地域づくりを推進することとしている。
- ・この具体化のため、本県の強みである多彩で高品質な農産物を活かし、食品等の物流拠点を核に流通加工・製造機能や観光的機能を備えた、モノと人の賑わいを創出する地域づくりのあり方について検討し、地域モデルを策定する。
- ・策定した地域モデルは、物流機能を活かした魅力ある地域づくりのモデルとして、市町へ提示していく。

<地域モデルのイメージ>

地域づくりの基本的考え方

- コンセプト：モノと人が賑わう「食」の地域づくり
- 3つのコア機能： 食品（生鮮食品・加工食品）の広域物流機能  
食品の流通加工・製造機能  
アミューズメント（観光）機能
- 5つの付帯機能： 災害時のロジスティクス機能  
自然との共生型ロジスティクス機能  
空港・港湾との物流ネットワーク機能  
地域の農業との連携機能  
本県農芸品の情報発信拠点機能



地域モデルの作成

- 上記の基本的考え方を踏まえ、市町の地域特性や「食と農」と「物流」に関する地域づくりと連携した地域モデル（3地域程度）を作成
- 内容：地域づくりの基本方針  
基本的方向性（土地利用、ゾーニング、機能・規模及び主要施設導入・配置の考え方、イメージパースの作成等）

事業シート (概要説明書)

1 事業概要

|                         |  |                      |       |        |          |
|-------------------------|--|----------------------|-------|--------|----------|
| 予算事業名                   | EV・PHVタウン推進事業費   |                      | 部局名   | 企画広報部  |          |
| 事業開始年度                  | 平成 23  | 終了予定年度               | 平成 25 | 担当課名   | エネルギー政策課 |
| 根拠法令                    |  |                      | 作成責任者 | 課長 増田仁 |          |
| 総合計画における位置付け<br>(主たるもの) | 大分類 (戦略)   | 「和」を尊重する暮らしの形成       |       |        |          |
|                         | 中分類 (戦略の柱)   | 地球を守る低炭素・循環型社会の構築    |       |        |          |
|                         | 小分類 (施策の方向)  | 温室効果ガス排出削減の推進        |       |        |          |
|                         | 細分類 (施策群)  | ふじのくにグリーン・イノベーションの推進 |       |        |          |
| 目的<br>(何のために)           | <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化や石油資源の枯渇など、自動車を取り巻く問題が深刻化する中、環境・資源問題への対応の切り札として期待される EV・PHV の本格普及に向け、本県の地域特性を活かした普及促進策に取り組み、低炭素社会への転換を図ることを目的とする。</li> <li>平成 22 年に国の「EV・PHV タウン」の指定を受け、官民で構成する普及協議会で策定した「ふじのくに EV・PHV 推進アクションプラン」の実現を目指し、EV・PHV の初期需要の創出に向け、3 カ年計画で集中的に推進する。</li> </ul> |                      |       |        |          |
| 対象<br>(何を対象に)           | 県民、事業者 等   |                      |       |        |          |
| 実施方法                    | 直接実施   | 業務委託                 | 指定管理  | 補助金等   | その他      |
|                         | 実施主体、委託先 (日本ユニシス株、静岡県地球温暖化防止活動推進センター)  |                      |       |        |          |

| 事業内容 (手段、手法など) | (単位:千円)                       |        |        |        |
|----------------|-------------------------------|--------|--------|--------|
|                | 項目                            | 23 実績  | 24 当初  | 増 減    |
|                | EV・PHVタウン連携推進事業               | 1,410  | 1,014  | 396    |
|                | EV・PHVタウン協議会<br>EV関連イベントの開催 等 | 1,410  | 900    | 510    |
|                | 走行実験・車両修繕                     | 0      | 114    | 114    |
|                | 充電インフラ整備促進事業                  | 33,246 | 10,656 | 22,590 |
|                | 充電器の整備                        | 33,246 |        | 33,246 |
|                | 充電インフラ整備促進事業                  |        | 7,500  | 7,500  |
|                | 充電器の維持・管理                     | 0      | 3,156  | 3,156  |
|                | EV・PHV車両率先導入事業                | 7,312  | 0      | 7,312  |
|                | 充電インフラ等情報発信モデル事業              | 2,242  | 2,730  | 488    |
|                | 電動二輪車普及促進事業                   | 0      | 6,400  | 6,400  |
|                | 計                             | 44,210 | 20,800 | 23,410 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 事業の必要性<br>(廃止した場合の影響) | 国のモデル地域指定を受け、官民が一体となって環境負荷の少ないEV等の普及促進に取り組んでおり、主幹事でもある県の本事業は、自動車部門の温室効果ガス削減 (低炭素社会の構築) に必要不可欠なものである。県民・事業者等へのEV・PHV の導入促進を図るためには、初期需要の創出に向けた環境整備が重要である。 |
| これまでの改善・見直しの状況        | 普及協議会において、毎年度「ふじのくに EV・PHV アクションプラン」を PDCA サイクルで進行管理することとしており、平成 24 年 3 月、取組の評価や改善を取りまとめたマスタープランを策定し、次年度以降の取組へ反映させている。                                  |

## 事業番号 7

### 2 事業費・人件費（インプット）

（単位：千円）

| 区 分     |         | H22 決算 | H23 決算 | H24 予算 |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 事業費     | 事業費計    |        | 44,210 | 20,800 |
|         | 財源内訳    | 基金繰入金  |        | 30,988 |
|         |         | 諸収入    |        | 1,680  |
|         |         | 一般財源   |        | 11,542 |
| 人件費     | 職員数（人工） | 人      | 1人     | 1人     |
|         | 人件費計    |        | 7,000  | 6,900  |
| 総コスト（+） |         |        | 51,210 | 27,700 |

### 3 事業の主たる活動指標（アウトプット）・効率指標（単位当たりコスト）

| 区 分                            | 指 標                    | 単位 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|--------------------------------|------------------------|----|--------|--------|--------|
| 活動指標                           | 県公用車（EV）導入台数           | 台  |        | 5      |        |
|                                | 県充電器設置台数               | 基  |        | 6      |        |
|                                | 普及啓発イベント実施回数           | 回  |        | 10     | 10     |
|                                | 電動バイク普及台数（リチウムイオン電池搭載） | 台  |        |        | 200    |
|                                | 公共的施設への急速充電器設置数        | 基  |        |        | 10     |
| 効率指標<br>（単位当たりコスト）<br>コスト/活動指標 | 県公用車（EV）導入台数           | 千円 |        | 1,940  |        |
|                                | 県充電器設置台数               | 千円 |        | 5,600  |        |
|                                | 普及啓発イベント実施回数           | 千円 |        | 60     | 55     |
|                                | 電動バイク普及台数（リチウムイオン電池搭載） | 千円 |        |        | 32     |
|                                | 公共的施設への急速充電器設置数        | 千円 |        |        | 999    |

### 4 事業の主たる成果指標（アウトカム）

| 区 分             | 指 標         | 単位 | H25 目標 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|-----------------|-------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 成果指標            | 車両普及台数（累計）  | 台  | 3,776  | 1,001  | 1,833  | 2,200  |
| 成果目標を<br>補完する指標 | 充電器設置台数（累計） | 基  | 300    | 178    | 240    | 408    |

平成 24 年 8 月 20 日現在 310 基

### 5 自己評価

| 区 分            | 内 容  |  |
|----------------|--|--|
| 事業の自己評価        | 活動指標の実績に対する評価、今後の見通し   | 本事業における充電器の設置や普及啓発活動は、本県におけるEV等の普及促進に寄与しており、目標達成に向けて順調に推移している。   |
|                | 単位当たりコストの削減は図られているか  | 事業実施にあたっては、市町や民間企業と連携して行うことで、県のコスト削減を図っている。  |
|                | 活動指標は成果指標進捗へ寄与しているか  | 本事業の実施により、車両普及数・充電器設置とも増加しており、普及目標の達成に寄与している。<br>特に、充電器は本年 8 月 20 日現在、310 基となり、最終目標を達成したため、目標改定について、本年度末のマスタープラン改定のために開催する普及協議会において協議する。 |
| 今後の方向性や改善方法、課題 | 毎年度末に、取組の進捗状況を評価するマスタープランを作成し、次年度の取組に活用する。今後とも官民が一体となってEV等の普及促進に努める。 |  |

1 EV・PHV等をめぐる動向

環境・エネルギー問題解決の切札のひとつとして、電気走行時にゼロエミッションで走行でき、エネルギー効率が高い電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHV）・電動二輪が注目を集めている。

2010年よりEVの一般販売が始まり、2012年3月末現在で国内大手メーカー6社から4種のEV・PHVと3種の電動二輪車が販売されており、中小企業においても小型EVや改造（コンバージョン）EVの開発が進んでいる。

国においても、2010年4月に策定した「次世代自動車戦略2010」で、EV・PHVの普及目標を2020年までに新車販売の15～20%と定めており、本年7月に政府が閣議決定した「日本再生戦略」では、環境・エネルギー等の分野で50兆円を超える新規市場と140万人の雇用を創出するとともに、新車販売に占める次世代自動車（ハイブリッド車等も含む）の割合を最大50%に高めるとの目標を定めている。

EV・PHV・電動二輪の本格普及には、従来の自動車とは異なる技術や部品、あるいは充電インフラの整備や情報発信などが必要になることから、新たな産業振興や観光振興につながる事が期待されている。

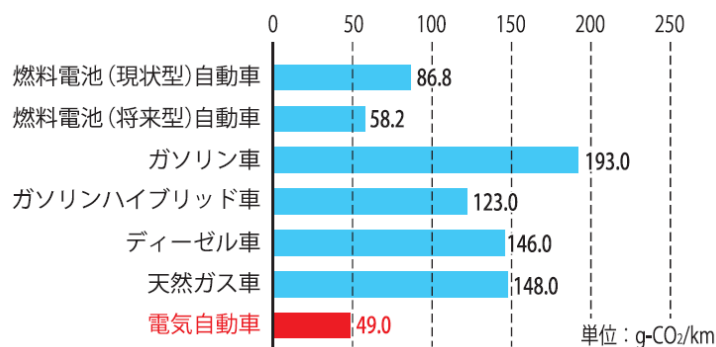
【（参考1）プラグインハイブリッド車とは】

- ・コンセントから差込プラグを用いて直接バッテリーに充電できるハイブリッド車。ガソリンエンジンの長距離航続性能を持ちつつ、電気自動車により近いタイプのハイブリッド車
- ・電化製品と同様、家庭用電源からプラグを通じた直接充電が可能
- ・通常のハイブリッド車より多くの電池を搭載し、電気のみで長距離を走行可能

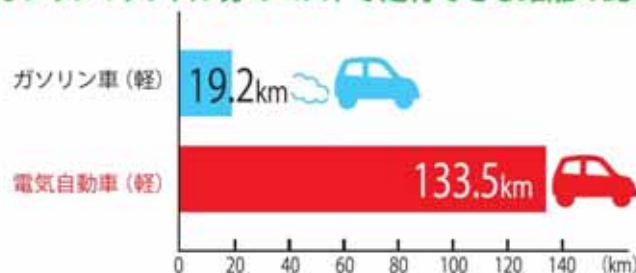
【（参考2）EVの特徴】

- ・二酸化炭素排出量は、発電の際に発生する二酸化炭素を考慮しても、ガソリン車の1/4程度であり、二酸化炭素排出量の削減に貢献
- ・各車種のエネルギー消費率（1km走行するのに必要なエネルギー量）を比較すると、最も低いのは電気自動車及びプラグインハイブリッド車（EV走行時）であり、ガソリン車と比較して1/4程度
- ・電気代はガソリン代の15%程度であり、経済的
- ・エンジンの代わりにモーターで走るため、走行時に排気ガスを出さず、静かであることから、生活環境の保全に貢献

【EVのCO<sub>2</sub>排出量】 平成18年3月 JHFC 総合効率検討特別委員会 財団法人日本自動車研究所 「JHFC 総合効率検討結果報告書 Well to Wheel CO<sub>2</sub>の比較データより」



ガソリン1リットル分のコストで走行できる距離の比較



2 本県における取組の概要

(1) EV・PHVタウン構想の概要

経済産業省によるEV・PHVの本格普及に向けた実証実験のモデル事業  
(全国18都府県が選定されている)

モデル地区選定により、国、自治体、地域企業等が連携してEV・PHVの導入、環境整備を集中的に行い、普及モデルの確立、全国展開を図ろうとするもの

<経緯>

- 平成22年12月 EV・PHVタウン選定
- 平成23年1月 ふじのくにEV・PHV普及協議会設立
- 平成23年3月 ふじのくにEV・PHV推進アクションプラン策定
- 平成24年3月 ふじのくにEV・PHV推進マスタープラン策定
- 平成24年8月 ふじのくにEV・PHV推進アクションプラン改定

(2) 取組体制

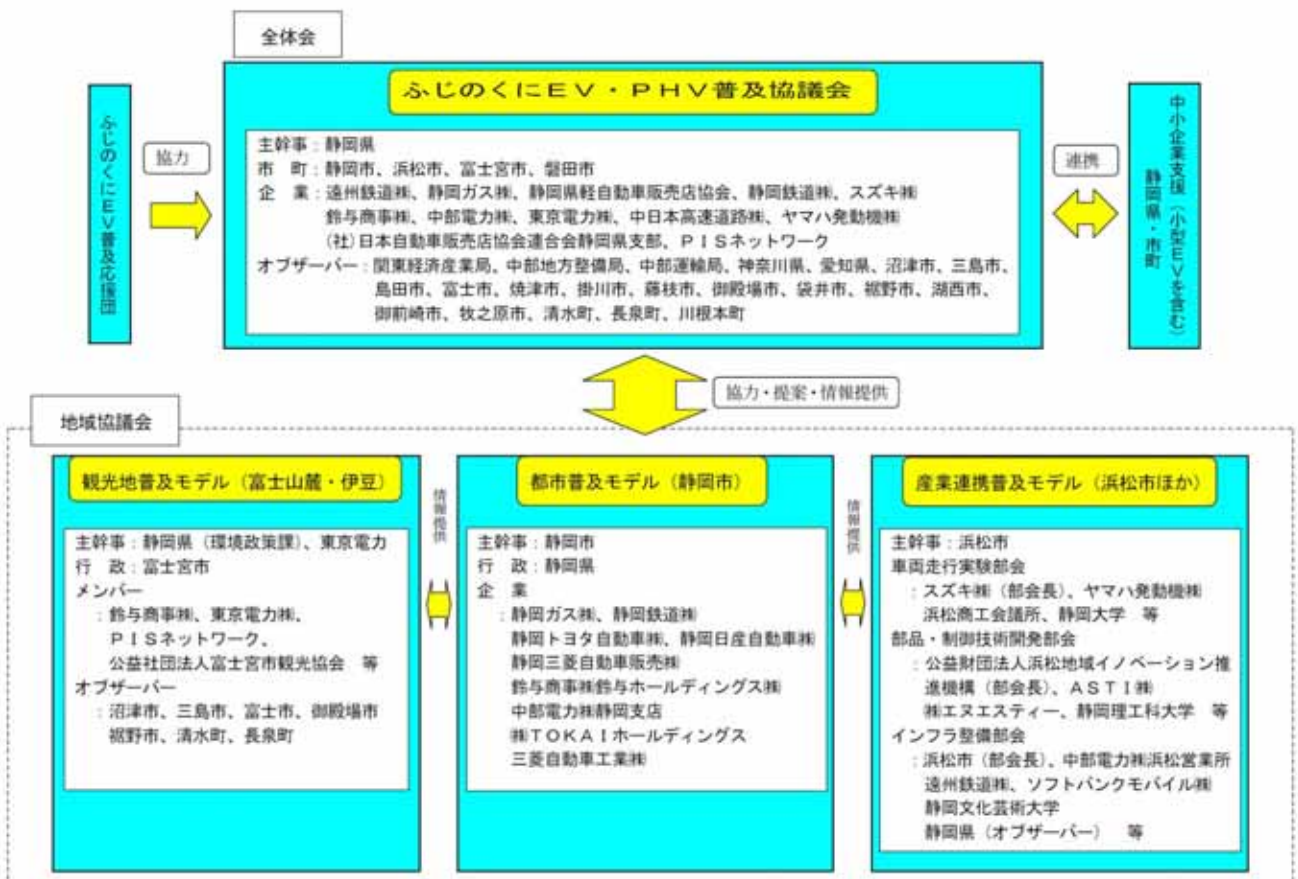
ア **ふじのくにEV・PHV普及協議会**：主幹事 県  
設置目的：大動脈等を活用した広域での取組、各地域間の情報共有

イ **各地域協議会**  
設置目的：各地域の地域特性を活かした取組の推進

**富士・伊豆地域次世代自動車普及協議会（観光地型）**：主幹事 県  
観光客ユーザーを想定した、観光地における普及モデルの推進

**静岡市次世代自動車普及促進協議会（都市型）**：主幹事 静岡市  
個人・ビジネスユーザーを想定した、都市における普及モデル

**はまつ次世代環境車社会実験協議会（産業連携型）**：主幹事 浜松市  
ものづくりと連携した普及モデル



## 事業番号 7

### (3) ふじのくにEV・PHV推進アクションプランの概要

#### ア 計画期間

平成22年12月～平成25年末

#### イ 普及目標

#### 平成25年度末までの普及目標

**車両 3,776台**

(EV・PHV 2,000台(乗用車保有台数の0.1%)、電動二輪 1,776台)

**充電器 300基** (一般開放分のみ)

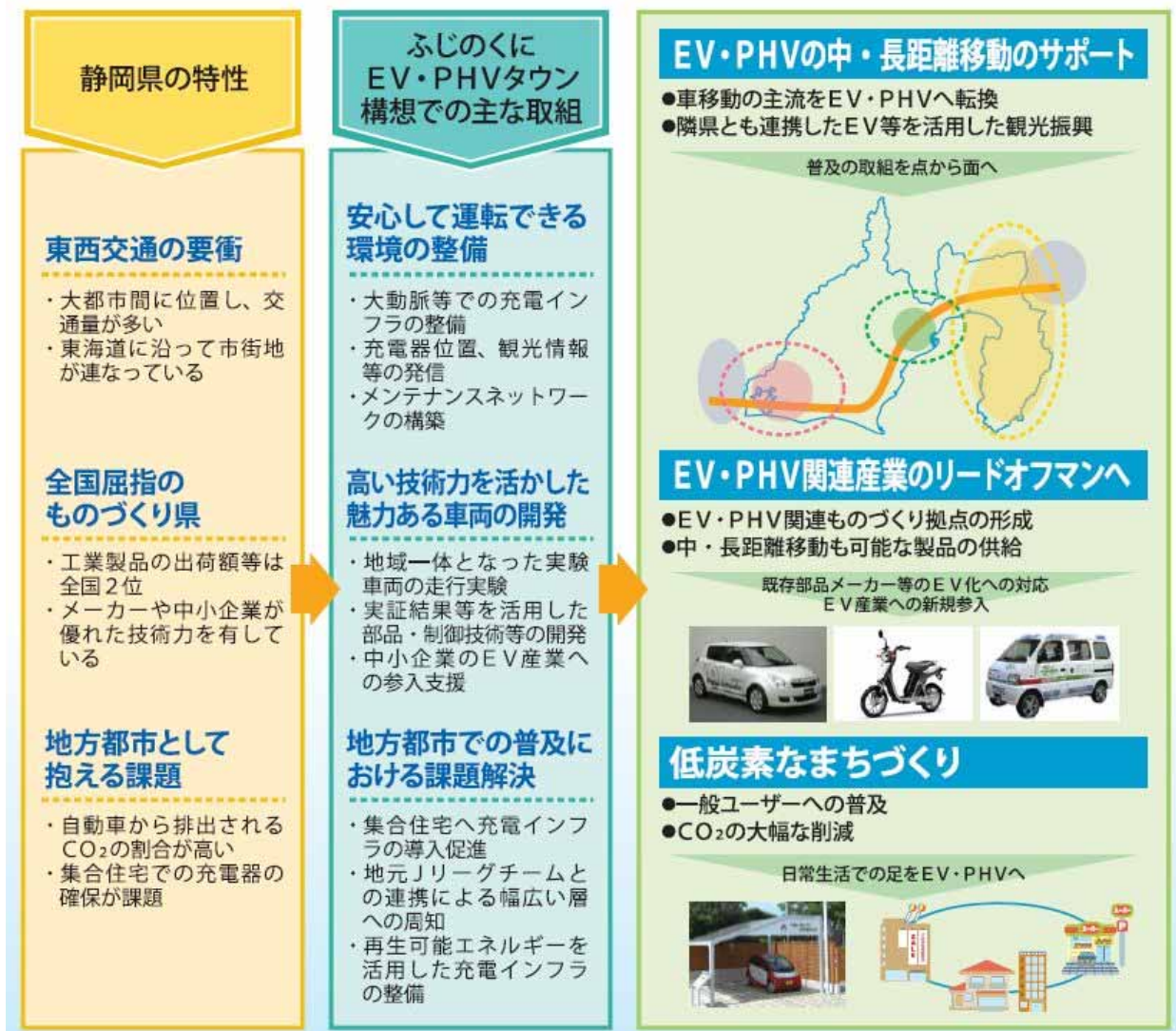
(主要道路30kmごとに1箇所)

充電器については、本年8月20日現在 310基となり、目標を達成したため、本年度末に開催する普及協議会で目標改定を協議する。

#### 普及目標の進捗計画

|           | 平成23年度        | 平成24年度        | 平成25年度       |
|-----------|---------------|---------------|--------------|
| 車両：3,776台 | 約1,100台(約30%) | 約2,200台(約60%) | 3,776台(100%) |
| 充電器：300基  | 約180基(約60%)   | 約240基(約80%)   | 300基(100%)   |

#### ウ 本県プランでの主な取組



主な取組内容と年次計画

|   | 2011年度         | 2012年度 | 2013年度 |
|---|----------------|--------|--------|
| <b>方針1 中・長距離を安心して運転できる環境の整備</b>   | 重点的に実施する期間     |        |        |
| (1) 大動脈等での充電インフラの整備 推進母体：全県協議会、各地域協議会   |                |        |        |
| ・取組機運の醸成（セミナー等の開催）  | —————→         |        |        |
| ・充電インフラの整備<br>（中・長距離移動を想定した広域幹線道路沿い等への整備促進）<br>（観光・宿泊施設等の観光利用を想定した充電インフラの整備）<br>（街中、商業施設等の日常・ビジネス利用を想定した充電インフラ整備） | —————→         |        |        |
| (2) 位置情報、観光情報等の発信 推進母体：全県協議会、地域協議会  |                |        |        |
| ・情報配信等の機能をもつシステムの整備   | —————→ (運営・拡充) |        |        |
| ・周辺観光、モデルルート情報の発信   | —————→         |        |        |
| (3) メンテナンスネットワークの構築 推進母体：県協議会   |                |        |        |
| ・既存ネットワーク等と連携した整備工場情報プラットフォームの構築  | —————→ (運営・拡充) |        |        |
| <b>方針2 高い技術力を活かした魅力ある車両の開発</b>  |                |        |        |
| (1) 地域が一体となった実験車両の走行実験 推進母体：地域協議会（産業連携型）  |                |        |        |
| ・公道での様々な条件化での走行実験   | —————→         |        |        |
| ・地域企業が開発した二輪・四輪車両の販売  | —————→         |        |        |
| (2) 実験結果等を活用した部品・制御技術等の開発 推進母体：地域協議会（産業連携型）   |                |        |        |
| ・高品質・高付加価値の部品・制御技術等の開発  | —————→         |        |        |
| (3) 中小企業のEV産業への参入支援 推進母体：県、市町   |                |        |        |
| ・新部品、新素材加工技術の研究開発、試作品開発の支援  | —————→         |        |        |
| ・EV整備人材の養成  | —————→         |        |        |
| <b>方針3 地方都市での普及における課題解決</b>   |                |        |        |
| (1) 集合住宅等への充電インフラの導入促進 推進母体：地域協議会（都市型）  |                |        |        |
| ・課題の整理、導入促進策の検討   | —————→         |        |        |
| (2) 地元Jリーグチームと連携した幅広い層への普及啓発 推進母体：地域協議会（都市型）  |                |        |        |
| ・試合会場での展示会等の開催、タイアップした啓発品の作成  | —————→         |        |        |

エ 進行管理

以下のようなPDCAサイクルで、進行管理を行っている。

ふじのくにEV・PHV普及協議会及び各地域協議会において、毎年、事業計画である「ふじのくにEV・PHV推進アクションプラン」と、評価結果である「ふじのくにEV・PHV推進マスタープラン」を策定し、目標達成に向けた確実な進行管理を行う。

|        |  |
|--------|--|
| PLAN   | : EV・PHVタウン構想の目標達成に向け「ふじのくにEV・PHV推進アクションプラン」を策定                  |
| DO     | : プランに基づき、各取組を実施   |
| CHECK  | : 各施策進捗状況の把握、取組の評価を行い、今後の課題をとりまとめ<br>(「ふじのくにEV・PHV推進マスタープラン」の策定) |
| ACTION | : 評価結果に基づき、今後の改善策を検討   |
| PLAN   | : 「ふじのくにEV・PHV推進アクションプラン」を改定                                     |

.....

<「ふじのくにEV・PHV推進マスタープラン」(H24.3策定)で指摘された主な改善すべき内容>

| 区分        | 課題   |
|-----------|--|
| 初期需要の創出   | 普及応援団の周知、会員数の拡大<br>電動二輪導入推進には補助制度が必要   |
| 充電インフラの整備 | 空白エリアの解消への取組<br>観光拠点、日常・ビジネス利用を想定したインフラ整備の更なる拡大<br>道の駅など公共的施設を対象とした急速充電器設置の補助制度が必要<br>「ふじのくにEV観光プラットフォーム」による情報発信 |
| 普及啓発      | EV等の良さを体感できるイベントの開催<br>幅広い層への更なる広報活動   |
| 関連産業の創出   | 次世代自動車分野の研究開発への支援<br>試作品開発への補助制度が必要<br>地域企業が開発する小型モビリティの事業化支援  |

### 3 県事業の概要

#### (1) 平成23年度実績

(単位：千円)

| 区分           | 内容  | 備考                            | 決算額    |
|--------------|---|-------------------------------|--------|
| 連携推進         | ふじのくにEV・PHV普及協議会の開催<br>富士・伊豆次世代自動車普及協議会の開催<br>ふじのくにEV・PHV普及応援団の募集<br>隣県(神奈川県・愛知県・山梨県)との連携<br>地域分科会(都市型、産業連携型)との連携 | 12月募集開始<br>山静神サミット等           | 1,410  |
| 計画策定<br>効果評価 | EV・PHVマスタープランの策定  | H24.3策定                       |        |
| 普及啓発         | セミナーの開催<br>EV車両等の展示会の開催<br>県民アンケート調査  | 2回実施済<br>11回実施済<br>1回実施済(静岡市) |        |
| 率先導入         | 車両の率先導入(購入2台、リース3台)   | 11月導入                         | 7,312  |
| 環境整備         | 充電器の整備(静岡空港等6箇所)  | H24.3竣工                       | 33,246 |
|              | 充電器位置情報等配信システムの整備<br>メンテナンスネットワークの構築  | H24.2運用開始<br>H24.2運用開始        | 2,242  |
| 計            |   |                               | 44,210 |

#### (参考) 経済産業部商工業局実施分

| 区分       | 内容                                 |
|----------|------------------------------------|
| 研究開発     | EV分解研修の実施<br>EV分解部品の展示及び構造・機能研修の実施 |
| 試作品開発・評価 | 試作実証実験費助成                          |
| 人材育成     | EV整備人材研修の実施<br>コンバージョンEV技術研修の実施    |
| 技術交流     | 全国EVサミット in しずおかの開催                |



## 事業番号 7

### (2) 平成 24 年度事業概要

(単位：千円)

| 区 分                                | 内 容   | 予算額    |
|------------------------------------|---|--------|
| EV・PHVタウン<br>連携推進事業                | (1)協議会の運営<br>EV・PHV推進アクションプランの改定<br>EV・PHV推進マスタープランの改定<br>(2)普及啓発等<br>車両展示、試乗会、デモ走行、その他広報活動<br><今年度出展したイベント><br>新東名開通行事(清水PA) 環境月間県民大会、<br>環境フェスタ in ふじえだ、県立図書館新東名展、<br>清水エスパルスエコマッチ、<br>浜松工業技術支援センターフェア 2012<br>(3)普及応援団の運営・募集 | 1,014  |
| 充電インフラ整備促進事業                       |   | 10,656 |
| 急速充電器整備に<br>対する助成                  | 対 象：公共的施設(道の駅等)<br>補助対象者：市町、非営利法人、市町出資法人<br>補助額：国補助額の1/2(上限75万円)<br>件 数：10件   | 7,500  |
| 県有急速充電器の維持管理                       | 維持管理、充電器の一般開放(H24.4.23開始)   | 3,156  |
| 充電インフラ等情報発信モ<br>デル事業               | 充電器の位置情報、メンテナンスネットワーク等の情報発信   | 2,730  |
| 電動二輪車普及促進事業<br>(電動二輪車購入に対<br>する助成) | 対 象：個人、法人<br>補助額：3万円/台<br>件 数：200件  | 6,400  |
| 計                                  |   | 20,800 |

#### 【 参考：県有施設急速充電器利用状況】

(単位：回)

| 月       | 4  | 5  | 6   | 7   | 8   | 累計  |
|---------|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 下田総合庁舎  | 5  | 21 | 29  | 25  | 33  | 113 |
| 東部総合庁舎  | 6  | 13 | 16  | 12  | 18  | 65  |
| 富士総合庁舎  | 5  | 6  | 15  | 9   | 8   | 43  |
| 県庁      | 13 | 18 | 11  | 11  | 19  | 72  |
| 富士山静岡空港 | 8  | 27 | 24  | 32  | 50  | 141 |
| 中遠総合庁舎  | 2  | 5  | 13  | 12  | 14  | 46  |
| 合 計     | 39 | 90 | 108 | 101 | 142 | 480 |

#### (参考) 経済産業部商工業局実施分

| 区分       | 内容  |
|----------|---|
| 研究開発     | EV分解部品の展示及び構造・機能研修の実施                         |
| 試作品開発・評価 | 試作実証実験費助成(次世代自動車枠を創設)<br>EV関連の新品・新素材加工技術の共同研究 |
| 人材育成     | EV整備人材研修の実施                                   |
| 商談会      | 県内中小企業の次世代自動車部品試作品の大手メーカーへの技術紹介、商談会           |
| 実証実験     | 小型EV試作車両実証実験                                  |
| 誘致活動     | EV関連企業の誘致活動                                   |

事業シート（概要説明書）

1 事業概要

|                     |  |                    |      |       |         |
|---------------------|--|--------------------|------|-------|---------|
| 予算事業名               | 地域生活支援事業費  |                    |      | 部局名   | 健康福祉部   |
| 事業開始年度              | 平成 18  | 終了予定年度             | -    | 担当課名  | 障害福祉課   |
| 根拠法令                | 障害者自立支援法（ <sup>25</sup> ～障害者総合支援法）   |                    |      | 作成責任者 | 課長 深津喜一 |
| 総合計画における位置付け（主たるもの） | 大分類（戦略）  | 3 - 3 「安心」の健康福祉の実現 |      |       |         |
|                     | 中分類（戦略の柱）  | 3 障害のある人の自立と社会参加   |      |       |         |
|                     | 小分類（施策の方向）   | （1）ライフステージに応じた支援   |      |       |         |
|                     | 細分類（施策群）   | ニーズに応じた福祉サービスの充実   |      |       |         |
| 目的（何のために）           | 地域の特性や利用者の状況などに応じた柔軟な事業形態による各種事業を効率的・効果的に実施することにより、障害福祉サービスなどと組み合わせて障害のある人の日常生活や社会参加を支援する。 |                    |      |       |         |
| 対象（何を対象に）           | 県内各地域の身体・知的・精神障害者（児）   |                    |      |       |         |
| 実施方法                | 直接実施   | 業務委託               | 指定管理 | 補助金等  | その他     |
|                     | 実施主体、委託先（（福）あしたか太陽の丘、（公社）静岡県聴覚障害者協会ほか）   |                    |      |       |         |

|               |   |  |         |
|---------------|---|--|---------|
| 事業内容（手段、手法など） | 1 事業概要  |  |         |
|               | (1) 県事業   |  |         |
|               | 障害のある人の地域生活を支援する専門的・広域的な対応が必要な各種事業を実施する。（負担率：国 1/2、県 1/2）                                     |  |         |
|               | (2) 市町事業  |  |         |
|               | 障害のある人の地域生活を支援するために必須的事業等を実施する市町に対して助成する。（法に基づく費用負担）（負担率：国 1/2、県 1/4、市町 1/4）                  |  |         |
|               | 2 経費内訳  |  | （単位：千円） |
|               | 区分  | 内 容  | H24 事業費 |
|               | 県事業   | 専門性の高い相談支援事業                                 | 41,984  |
|               |   | サービス・相談支援者、指導者育成事業                           | 32,733  |
|               |   | その他の事業<br>・広域的なコミュニケーション支援事業<br>・社会参加促進事業 ほか | 72,944  |
| 小 計           |   | 147,661                                      |         |
| 市町事業          | ・相談支援事業<br>・成年後見制度利用支援事業<br>・コミュニケーション支援事業<br>・日常生活用具給付等事業<br>・移動支援事業<br>・地域活動支援センター機能強化事業 ほか | 446,339                                      |         |
| 合 計           |   | 594,000                                      |         |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 事業の必要性（廃止した場合の影響） | 障害者自立支援法により位置付けられた県の役割として、専門的な各種支援、人材養成等を実施するとともに、市町事業に対して助成し、法定の費用負担をするものであり、障害のある人の地域生活を支援するために不可欠な事業である。         |
| これまでの改善・見直しの状況    | 障害のある人のニーズの反映や、効率的な事業執行の観点から、既存メニュー事業の廃止・統合や規模の縮小など、適宜事業内容の見直しを実施している。（例：H22 年度に民間による類似サービスの普及が進んだ「パソコンリサイクル事業」を廃止） |

## 事業番号 8

### 2 事業費・人件費（インプット）

（単位：千円）

| 区 分     |              | H22 決算  | H23 決算  | H24 予算  |
|---------|--------------|---------|---------|---------|
| 事業費     | 事業費計         | 584,559 | 580,114 | 594,000 |
|         | 財源内訳         |         |         |         |
|         | 国支出金         | 72,307  | 70,292  | 73,491  |
|         | 地方債          | 0       | 0       | 0       |
|         | その他（過年度返納金等） | 1,360   | 0       | 672     |
|         | 一般財源         | 510,892 | 509,822 | 519,837 |
| 人件費     | 職員数（人工）      | 2.5人    | 2.6人    | 2.6人    |
|         | 人件費計         | 17,750  | 18,200  | 17,940  |
| 総コスト（+） |              | 602,309 | 598,314 | 611,940 |

### 3 事業の主たる活動指標（アウトプット）・効率指標（単位当りコスト）

| 区 分                           | 指 標                      | 単位 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|-------------------------------|--------------------------|----|--------|--------|--------|
| 活動指標                          | 専門性の高い相談（就業・生活）支援        | 件  | 25,639 | 24,326 | 26,685 |
|                               | サービス・相談支援者、指導者等人材養成研修修了者 | 人  | 2,569  | 2,559  | 2,579  |
|                               | コミュニケーション支援者広域派遣         | 時間 | 6,803  | 5,786  | 6,323  |
| 効率指標<br>（単位当りコスト）<br>コスト/活動指標 | 専門性の高い相談（就業・生活）支援        | 千円 | 1.34   | 1.41   | 1.57   |
|                               | サービス・相談支援者、指導者等人材養成研修修了者 | 千円 | 17.65  | 16.92  | 16.73  |
|                               | コミュニケーション支援者広域派遣         | 千円 | 2.57   | 2.99   | 2.59   |

### 4 事業の主たる成果指標（アウトカム）

| 区 分             | 指 標                                     | 単位 | H25 目標 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|-----------------|---|----|--------|--------|--------|--------|
| 成果指標            | 自分の住んでいるまちが、安心して暮らせるところだと思っている障害のある人の割合 | %  | 60     |        |        |        |
|                 |   |    |        |        |        |        |
| 成果目標を<br>補完する指標 | 障害者就業・生活支援センターの設置                       | 箇所 | 8      | 7      | 8      | 8      |
|                 | 市町での手話通訳者派遣実績                           | 市町 | 35     | 32     | 31     | 32     |
|                 |   |    |        |        |        |        |

### 5 自己評価

|         | 区 分                  | 内 容   |
|---------|----------------------|---|
| 事業の自己評価 | 活動指標の実績に対する評価、今後の見通し | 相談支援については今後も長期的には増加が見込まれ、人材養成については効率的な研修、講座等の開催により、引続き養成者数の増加に努める。コミュニケーション支援者派遣については基礎的サービスの意味合いが強いため、今後もこれまでの派遣時間数程度で推移すると思われる。 |
|         | 単位当りコストの削減は図られているか   | 様々な事業を実施していることから、個々の事業内容を見直すことで、より多くの相談件数や人材養成等につなげていく。   |
|         | 活動指標は成果指標進捗へ寄与しているか  | 地域の特性や利用者の状況に応じ多様な事業を実施することで、障害のある人が安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与している。  |
|         | 今後の方向性や改善方法、課題       | 今後の法制度改正や障害のある人のニーズの変化に応じて、障害者団体等からの意見等も伺った上で、適宜、既存事業の廃止・統合や規模縮小等の見直しを行うとともに、重点事業の拡充等を図っていく。                                      |

・地域生活支援事業の制度概要

平成 18 年 10 月施行

障害者自立支援法による法定事業（法第 77 条及び法第 78 条）であること。

平成 25 年度からは、障害者総合支援法による法定事業（法第 77 条及び法第 78 条）となる。  
 統合補助金であり、個別事業の所要額に基づく配分がないこと。

| 県事業                                     |  |        | 市町事業(指定都市を含む。)   |                  |        |        |
|---|--|--------|--|------------------|--------|--------|
| 必須事業                                    | 任意事業                                       |        | 必須事業   | 任意事業             |        |        |
| 専門性の高い相談<br>支援事業<br>広域的な支援事業            | サービス・相談支援<br>者、指導者育成事業<br>その他の事業<br>特別支援事業 |        | 相談支援事業<br>成年後見制度利用<br>支援事業<br>コミュニケーション<br>支援事業<br>日常生活用具給付<br>等事業<br>移動支援事業<br>地域活動支援センター<br>機能強化事業 | その他の事業<br>特別支援事業 |        |        |
| 費用負担<br>国 1/2 県 1/2                     |  |        | 費用負担<br>国 1/2 県 1/4 市町 1/4   |                  |        |        |
| 対象者 障害者自立支援法第 4 条に規定する障害者及び障害児          |  |        |  |                  |        |        |
| 利用料 地方自治法の規定に基づき、実施主体の判断で利用料を求めることができる。 |  |        |  |                  |        |        |
| 区 分                                     | H19  | H20    | H21  | H22              | H23    | H24    |
| 国予算                                     | 400 億円                                     | 400 億円 | 440 億円   | 440 億円           | 445 億円 | 450 億円 |

・補助金額の算定

- ・県及び市町への国庫補助金額は、「所要額（総事業費）」と、過去の事業実績を踏まえ予算の範囲内で内示される「基準額」とを比較して、少ない方の額（A）の 1 / 2 とされている。
- ・県から市町への補助金額については、上記（A）の 1 / 4 としている。

・県が行う事業

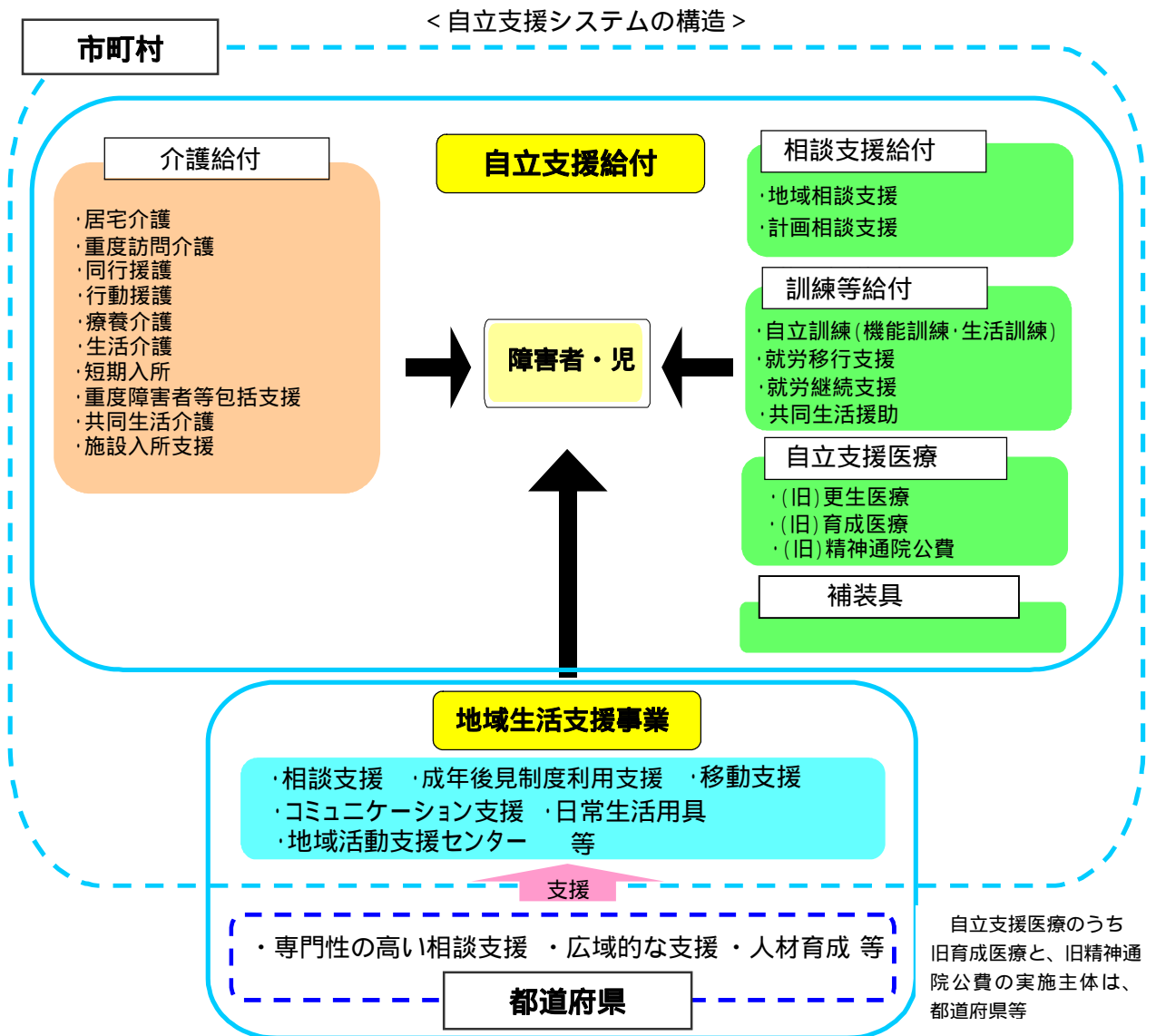
- ・地域生活支援事業は、障害者に最も身近な市町が中心となって実施することとされているが、個々の市町での対応が困難（専門的、広域的、人材育成等）である事業について、県が実施している。

・市町への助言、援助等

- ・市町の自主性を尊重しつつ、県内の市町間で大きな格差を生じることがないように、国の実施要綱に加え、県としての事業実施の考え方をガイドラインとして市町に示している。  
 ...日常生活用具給付等事業における対象品目、基準額等の例示など

・地域生活支援事業の位置づけ

自立支援システムの一つに位置づけられており、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を効率的・効果的に実施することにより、障害福祉サービスなどの「自立支援給付」と組み合わせて障害者等の日常生活や社会生活を支援することを目的としている。



自立支援給付：

障害のある方々の身近な市町村が、責任をもって一元的にサービスを提供する仕組み。障害の程度のほか、社会活動、介護者の状況、居住などの勘案すべき事項を踏まえ、個別に支給決定が行われる。(国、県、市町村が義務的に費用を負担し、全国一律の基準によりサービスが提供される。)  
 ...介護給付、相談支援給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具等

・国及び自治体の責務

(障害者自立支援法第2条各項)

| 市町村の責務   | 県の責務  | 国の責務   |
|--|---|--|
| 当該市町村の区域における障害者等の生活の実態を把握した上で、必要な自立支援給付及び地域生活支援事業を総合的かつ計画的に行うこと。 | 市町村が行う自立支援給付及び地域生活支援事業が適正かつ円滑に行われるよう、市町村に対する必要な助言、情報提供その他の援助を行うこと。市町村と連携を図りつつ、必要な自立支援医療費の支給及び地域生活支援事業を総合的に行うこと。 | 市町村及び都道府県が行う自立支援給付、地域生活支援事業その他この法律に基づく業務が適正かつ円滑に行われるよう、市町村及び都道府県に対する必要な助言、情報提供その他の援助を行わなければならない。 |

事業番号 8

・地域生活支援事業の内容（県事業）

単位：千円

| 区 分  | 事 業 名  | H24 予算  |
|--|--|---------|
| 1 専門性の高い相談支援事業   | (1)障害者就業・生活支援センター事業<br>・就業及びこれに伴う日常生活等の支援を必要とする障害者に対し、関係機関と連携を図り、身近な指導、助言等の支援を実施<br>・各センターに生活支援担当者1人を配置（県内8ヶ所）<br>実施主体：(福)覆育会他7法人、対象者：利用登録者2,830人<br>H23実績：支援件数24,326件 | 41,984  |
| 2 サービス・相談支援者、指導者育成事業   | (1) 障害程度区分認定調査員等研修事業<br>・障害程度区分を判定する市町村審査会の委員及び認定調査員等に対する研修<br>実施主体：県直営<br>対 象 者：障害福祉サービス等実利用者16,354人<br>H23実績：研修会2回   | 122     |
|  | (2) 相談支援従事者研修事業<br>・指定相談支援事業所に必置である相談支援専門員等の養成研修<br>実施主体：(福)あしたか太陽の丘<br>対 象 者：障害福祉サービス等実利用者16,354人<br>H23実績：修了者308人  | 7,113   |
|  | (3) サービス管理責任者研修事業<br>・指定障害福祉サービス事業所等に必置であるサービス管理責任者の養成研修<br>実施主体：(福)あしたか太陽の丘<br>対 象 者：障害福祉サービス等実利用者16,354人<br>H23実績：修了者314人  | 5,018   |
|  | (4) 居宅介護従業者等養成研修事業<br>・指定居宅介護（ホームヘルプ）事業、重度訪問介護事業の従業者を養成するための研修<br>・知的障害者を対象としたホームヘルパー2級課程研修等   | 7,476   |
|  | 障害者（児）ホームヘルパー等養成研修事業<br>・専門性の高いホームヘルパー2級課程、重度訪問介護従業者の養成研修<br>実施主体：静岡県CIL連絡協議会<br>対 象 者：居宅介護サービス等実利用者2,445人<br>H23実績：修了者42人   | (2,422) |
|  | (5) 手話通訳者・要約筆記者養成研修事業  | 11,802  |
|  | 手話通訳者養成研修事業<br>・養成講座として、基本課程、応用課程、実践課程を実施<br>その他に新任研修、講師養成研修を実施<br>実施主体：(公社)県聴覚障害者協会<br>対 象 者：手話が必要な聴覚障害者1,705人<br>H23実績：修了者127人、その他研修受講者238人                          | (7,949) |
| (6) 盲ろう者向け通訳兼介助者養成研修事業<br>・養成研修、新任研修、現任研修、伝達研修の実施<br>実施主体：(公社)県聴覚障害者協会、対象者：盲ろう者653人<br>H23実績：修了者18人、その他研修受講者192人 | 1,202  |         |

県事業のうち、主な事業の概要を記載。（ ）内の金額は再掲であり、上段の金額の内数。  
県直営を除く実施主体は、事業の委託先団体。

| 区 分      | 事 業 名   | H24 予算 |
|----------|---|--------|
| 3 その他の事業 | (1)重度障害者在宅就労促進特別事業(バーチャル工房支援事業)<br>・企業からの業務受注、在宅(障害者)ワーカーへの仕事の配分、仕事の進め方の指導等による、障害者の在宅就労の支援<br>実施主体:(N)浜松 NPO ネットワークセンター<br>対 象 者:登録ワーカー21人、H23実績:業務受託件数47件  | 1,942  |
|          | (2)重度障害者に係る市町村特別支援事業<br>・訪問系サービス支給額のうち国庫負担基準超過分について助成<br>実施主体:市町(補助) 対象者:重度訪問介護利用者数90人<br>H23実績:補助実績なし  | 10     |
|          | (3)生活訓練等事業<br>・オストメイト社会適応訓練事業、視覚障害者社会生活訓練事業、聴覚障害者社会生活訓練事業等<br>視覚障害者社会生活訓練事業<br>・視覚障害者(中途視覚障害者含む。)に対する日常生活に必要な訓練及び相談<br>実施主体:(公社)県視覚障害者協会、日本網膜色素変性症協会静岡支部<br>対 象 者:視覚障害者8,349人、H23実績:訓練等延人数2,033人  | 11,480 |
|          | (4)情報支援等事業<br>・字幕ビデオライブラリー普及事業、盲ろう者向け通訳兼介助者派遣事業、点字情報ネットワーク事業<br>盲ろう者向け通訳兼介助者派遣事業<br>・盲ろう者に対する通訳兼介助者の派遣<br>実施主体:(公社)県聴覚障害者協会<br>対 象 者:盲ろう者653人、H23実績:2,403件4,479時間   | 11,844 |
|          | (5)障害者IT総合推進事業<br>・障害者マルチメディア情報センターの管理運営、パソコンボランティア特別研修事業、在宅障害者パソコン講習事業<br>障害者マルチメディア情報センター管理運営費<br>・障害者マルチメディア情報センターの設置・管理運営(県内3ヶ所)<br>実施主体:(N)ウォーター・ビジョン他2法人<br>対 象 者:県内全障害者、H23実績:延利用者9,273人   | 13,607 |
|          | (6)社会参加促進事業<br>・障害者社会参加推進センター運営事業、点訳奉仕員等養成事業、レクリエーション教室開催事業、芸術・文化講座開催等事業、補助犬インフォメーションデスク設置事業、広域的な手話通訳者・要約筆記者派遣事業等<br>補助犬インフォメーションデスク設置事業<br>・身体障害者補助犬に関する個別相談窓口の設置、広報啓発等<br>実施主体:(N)県補助犬支援センター<br>対 象 者:県民、事業者、補助犬使用者<br>H23実績:相談・苦情件数:105件 | 28,257 |
| 4 特別支援事業 | 必須事業の実施が遅れている地域の支援や実施水準に格差が見られる事業の充実を図るための各種事業<br>重症心身障害児(者)在宅支援充実強化対策事業<br>・看護、介護等の専門人材の養成や地域関係者のネットワークの構築等<br>実施主体:県看護協会、(福)小羊学園<br>対 象 者:在宅の重症心身障害児(者)1,217人<br>H23実績:研修参加者延べ164人  | 3,804  |

事業番号 8

・地域生活支援事業の内容（市町事業）

単位：千円

| 区 分                | 事 業 名   | H24 予算  |
|--------------------|---|---------|
| 1 相談支援事業           | 障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや権利擁護のために必要な援助を行う<br>(1) 基幹相談支援センター等機能強化事業<br>(2) 住宅入居等支援事業（居住サポート事業）  | 446,339 |
| 2 成年後見制度利用支援事業     | 知的・精神障害者が障害福祉サービスの利用にあたり成年後見制度を利用する場合の費用を助成【24年度必須事業に格上げ】<br>例：成年後見制度の申し立てに要する経費（登記手数料、鑑定費用等）<br>後見人等の報酬  |         |
| 3 コミュニケーション支援事業    | 聴覚、言語機能、音声機能、視覚その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等に、手話通訳者、要約筆記者の派遣、手話通訳者の設置、点訳・音訳等による支援などを行う  |         |
| 4 日常生活用具給付等事業      | 重度障害者等に対し、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付又は貸与<br>例：拡大読書器、屋内信号装置、車いす、透析液加温器<br>段差解消など、住環境の改善を行うための住宅改修   |         |
| 5 移動支援事業           | 屋外での移動が困難な障害者等の外出支援<br>・ガイドヘルパーを派遣  |         |
| 6 地域活動支援センター機能強化事業 | 障害者等が通所し、地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を行なう地域活動支援センターの機能を強化する。   |         |
| 7 その他の事業           | (1) 福祉ホーム事業<br>(2) 盲人ホーム事業<br>(3) 訪問入浴サービス事業<br>(4) 身体障害者自立支援事業<br>(5) 重度障害者在宅就労促進特別事業<br>（バーチャル工房支援事業）<br>(6) 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付事業<br>(7) 知的障害者職親委託制度<br>(8) 生活支援事業<br>(9) 日中一時支援事業<br>(10) 生活サポート事業<br>(11) 社会参加促進事業<br>(12) 地域移行のための安心生活支援事業<br>(13) 成年後見制度普及啓発等事業<br>(14) 障害児支援体制整備事業 |         |
| 8 特別支援事業           | 県事業の5と同様  |         |



平成23年度地域生活支援事業費補助金の市町事業実施状況

| 事業区分  | 必須事業       |                       |                           |                     |            | その他の事業                       |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
|-------|------------|-----------------------|---------------------------|---------------------|------------|------------------------------|-------------|-------------|--------------------|---------------------|-----------------------------|--------------------------------------|--------------------|------------|--------------|------------------|--------------|------------------------------|-----------------------------|------------|--|
|       | 相談支援<br>事業 | 成年後利用<br>制度利用<br>支援事業 | コミュニ<br>ケーション<br>支援事<br>業 | 日常生活<br>用具給付<br>等事業 | 移動支援<br>事業 | 地域活動<br>支援セン<br>ター機能<br>強化事業 | 福祉ホー<br>ム事業 | 盲人ホー<br>ム事業 | 訪問入浴<br>サービス<br>事業 | 身体障害<br>者自立支<br>援事業 | 重度障害<br>者在宅就<br>労促進特<br>別事業 | 更生訓練<br>費・施設<br>入所者就<br>職支度金<br>給付事業 | 知的障害<br>者職就<br>託制度 | 生活支援<br>事業 | 日中一時<br>支援事業 | 生活サ<br>ポート事<br>業 | 社会参加<br>促進事業 | 地域移行<br>のための<br>安心生活<br>支援事業 | 発達障害<br>者支援セ<br>ンター運<br>営事業 | 特別支援<br>事業 |  |
| 静岡市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 浜松市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 沼津市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 熱海市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 三島市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 富士宮市  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 伊東市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 島田市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 富士市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 磐田市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 焼津市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 掛川市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 藤枝市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 御殿場市  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 袋井市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 下田市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 裾野市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 湖西市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 伊豆市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 御前崎市  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 菊川市   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 伊豆の国市 |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 牧之原市  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 東伊豆町  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 河津町   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 南伊豆町  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 松崎町   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 西伊豆町  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 函南町   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 清水町   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 長泉町   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 小山町   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 吉田町   |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 川根本町  |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 森町    |            |                       |                           |                     |            |                              |             |             |                    |                     |                             |                                      |                    |            |              |                  |              |                              |                             |            |  |
| 計     | 27         | 6                     | 31                        | 35                  | 33         | 21                           | 1           | 1           | 28                 | 0                   | 0                           | 6                                    | 1                  | 5          | 35           | 1                | 25           | 0                            | 2                           | 0          |  |

事業シート (概要説明書)

1 事業概要

| 予算事業名                             | 障害者施設等整備費助成   |                     |                      | 部局名                 | 健康福祉部   |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|-----------------------------------|---|---------------------|----------------------|---------------------|---------|----|--------|--------|--------|----|----------|--|--|--|--|----------|---------------------|---------------------|---------------------|--------|-----------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------|--|--|----------------------|-----------|----------|---------------|--|--|--------------------|----|---------------------|---------------------|----------------------|--|
| 事業開始年度                            | 昭和 61   | 終了予定年度              | -                    | 担当課名                | 障害者政策課  |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 根拠法令                              | 社会福祉施設等施設整備費国庫補助金交付要綱<br>地域自主戦略交付金交付要綱  |                     |                      | 作成責任者               | 課長 大野彰彦 |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 総合計画における位置付け<br>(主たるもの)           | 大分類 (戦略)  |                     | 「安心」の健康福祉の実現         |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 中分類 (戦略の柱)  |                     | 障害のある人の自立と社会参加       |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 小分類 (施策の方向)   |                     | 自立と社会参加に向けた総合的支援     |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 細分類 (施策群)   |                     | ニーズに応じた福祉サービスの充実     |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 目的<br>(何のために)                     | 地域における住まいの場、日中活動を行う場等の障害福祉サービスを提供する施設整備を進め、障害のある人が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようにする。  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 対象<br>(何を対象に)                     | 障害福祉サービスを提供する施設等の創設・大規模修繕などの整備にかかる経費  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 実施方法                              | 直接実施  | 業務委託                | 指定管理                 | 補助金等                | その他     |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 実施主体、委託先 ( 社会福祉法人等 )  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 事業内容 (手段、手法など)                    | 事業内容 (概要・経費内訳等) 事業の全体計画等  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | (1) 障害者施設整備費助成 (国庫補助)   |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 補助対象 障害児者施設・事業所を整備する社会福祉法人等<br>(大規模修繕等はグループホーム、ケアホーム等のみ)  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 補助率 国庫補助基準額の 3/4 (内国庫 2/3、県 1/3)  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | (2) 障害者施設整備費助成 (地域自主戦略交付金)  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 補助対象 障害児者施設・事業所を整備する社会福祉法人等<br>(グループホーム、ケアホーム等を除く大規模修繕のみ)   |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | 補助率 国庫補助基準相当額の 3/4 (内国庫 (交付金) 2/3、県 1/3)  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | (3) 事業費 (単位: 千円、上段: 歳出、下段: 一般財源)  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
|                                   | <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H22 決算</th> <th>H23 決算</th> <th>H24 当初</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者施設整備費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(施設・事業所)</td> <td>175,821<br/>(58,607)</td> <td>271,473<br/>(90,492)</td> <td>269,987<br/>(89,995)</td> <td>創設 5 件</td> </tr> <tr> <td>(グループホーム・ケアホーム)</td> <td>40,209<br/>(14,877)</td> <td>83,635<br/>(36,392)</td> <td>88,752<br/>(29,586)</td> <td>創設 4 件<br/>大規模修繕 2 件</td> </tr> <tr> <td>(地域自主戦略交付金分)</td> <td></td> <td></td> <td>537,303<br/>(179,101)</td> <td>大規模修繕 1 件</td> </tr> <tr> <td>障害者設備整備費</td> <td>28,601<br/>(0)</td> <td></td> <td></td> <td>23 年度から、基盤整備事業に組替。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>204,422<br/>(58,607)</td> <td>271,473<br/>(90,492)</td> <td>896,042<br/>(298,682)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |                     |                      |                     |         | 項目 | H22 決算 | H23 決算 | H24 当初 | 備考 | 障害者施設整備費 |  |  |  |  | (施設・事業所) | 175,821<br>(58,607) | 271,473<br>(90,492) | 269,987<br>(89,995) | 創設 5 件 | (グループホーム・ケアホーム) | 40,209<br>(14,877) | 83,635<br>(36,392) | 88,752<br>(29,586) | 創設 4 件<br>大規模修繕 2 件 | (地域自主戦略交付金分) |  |  | 537,303<br>(179,101) | 大規模修繕 1 件 | 障害者設備整備費 | 28,601<br>(0) |  |  | 23 年度から、基盤整備事業に組替。 | 合計 | 204,422<br>(58,607) | 271,473<br>(90,492) | 896,042<br>(298,682) |  |
|                                   | 項目  | H22 決算              | H23 決算               | H24 当初              | 備考      |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 障害者施設整備費                          |   |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| (施設・事業所)                          | 175,821<br>(58,607)   | 271,473<br>(90,492) | 269,987<br>(89,995)  | 創設 5 件              |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| (グループホーム・ケアホーム)                   | 40,209<br>(14,877)  | 83,635<br>(36,392)  | 88,752<br>(29,586)   | 創設 4 件<br>大規模修繕 2 件 |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| (地域自主戦略交付金分)                      |   |                     | 537,303<br>(179,101) | 大規模修繕 1 件           |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 障害者設備整備費                          | 28,601<br>(0)   |                     |                      | 23 年度から、基盤整備事業に組替。  |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 合計                                | 204,422<br>(58,607)   | 271,473<br>(90,492) | 896,042<br>(298,682) |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 〔 〕は障害者自立支援総合助成事業で実施 (H24 当事業に統合) |   |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| 事業の必要性<br>(廃止した場合の影響)             | 事業を廃止した場合、施設を創設・改修する費用が全額法人負担となるため、新たな施設の設置が進まず、障害のある人の日中活動の場や住まいの場が確保できなくなる。また、老朽化した施設の改修の遅れにより利用者の安全性の確保ができないことから、計画的に整備を進めていく必要がある。  |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |
| これまでの改善・見直しの状況                    | グループホーム・ケアホームの整備を行っていた県単独補助事業の障害者自立支援総合助成 (施設整備助成) を、平成 24 年度から本事業に統合したことにより、補助制度をシンプルにするとともに、県歳出の削減を図った。   |                     |                      |                     |         |    |        |        |        |    |          |  |  |  |  |          |                     |                     |                     |        |                 |                    |                    |                    |                     |              |  |  |                      |           |          |               |  |  |                    |    |                     |                     |                      |  |

2 事業費・人件費（インプット）

（単位：千円）

| 区 分       |         | H22 決算  | H23 決算  | H24 予算  |
|-----------|---------|---------|---------|---------|
| 事業費       | 事業費計    | 204,422 | 271,473 | 896,042 |
|           | 財源内訳    |         |         |         |
|           | 国支出金    | 145,815 | 180,981 | 597,360 |
|           | 地方債     |         |         |         |
|           | その他（ ）  |         |         |         |
|           | 一般財源    | 58,607  | 90,492  | 298,682 |
| 人件費       | 職員数（人工） | 0.6 人   | 0.6 人   | 0.6 人   |
|           | 人件費計    | 4,260   | 4,200   | 4,140   |
| 総コスト（ + ） |         | 208,682 | 275,673 | 900,182 |

3 事業の主たる活動指標（アウトプット）・効率指標（単位当たりコスト）

| 区 分                            | 指 標            | 単位 | H22 実績  | H23 実績 | H24 見込 |
|--------------------------------|----------------|----|---------|--------|--------|
| 活動指標                           | 施設整備費事業に対する補助数 | 件  | 2       | 4      | 12     |
|                                |                |    |         |        |        |
| 効率指標<br>（単位当たりコスト）<br>コスト/活動指標 | 施設整備事業に対する補助金額 | 千円 | 104,341 | 68,918 | 75,015 |
|                                |                |    |         |        |        |

4 事業の主たる成果指標（アウトカム）

| 区 分             | 指 標                                     | 単位  | H25 目標 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|-----------------|---|-----|--------|--------|--------|--------|
| 成果指標            | 自分の住んでいるまちが、安心して暮らせるところだと思っている障害のある人の割合 | %   | 60     |        |        |        |
| 成果目標を<br>補完する指標 | 障害者施設等整備の促進（創設、改築、大規模修繕によるサービスの充実）      | 箇所数 | 2      | 2      | 4      | 3      |
|                 | 障害のある人の地域での生活の場の確保（グループホーム・ケアホーム）       | 箇所数 | 5      | 2      | 6      | 4      |

5 自己評価

|         | 区 分                  | 内 容   |
|---------|----------------------|---|
| 事業の自己評価 | 活動指標の実績に対する評価、今後の見通し | 総合計画の主な取組に掲げた指標を達成することができており、今後も引き続き、障害のある人の福祉ニーズに対応した施設の計画的な整備の推進に努める。                                     |
|         | 単位当たりコストの削減は図られているか  | 整備する施設種別により単位コストは異なるが、実施設計審査を通じて、利用者の視点で設備等の必要性を吟味すると共に、事業主体に対し競争入札を義務付けることでコスト削減に努めている。                    |
|         | 活動指標は成果指標進捗へ寄与しているか  | 今年度、障害のある人へのアンケート調査を行うが、計画的な住まいの場、日中活動の場等の整備をすることにより、自分の住んでいるまちが安心して暮らせるところだと思っている障害のある人の割合は増加しているものと考えている。 |
|         | 今後の方向性や改善方法、課題       | 限りある予算で必要となるサービス量を確保するために、緊急性・必要性を見極め、計画的・効率的に施設整備を進めていく。   |

1 目的

障害のある人が、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域において必要なときに必要な障害福祉サービスが利用できるよう、サービスを提供する施設等を整備することが求められている。

この事業では、原則としてこれまでの入所施設中心のサービスから、地域生活を支援するサービス体系に重点を移し、地域での住まいの場（グループホーム等）を整備するとともに、日中活動を行う場（生活介護、就労継続支援等）や訪問系サービス（居宅介護等）等を提供する施設を整備していく。

なお、入所施設については、依然として入所希望者が多く、グループホーム等のバックアップ施設としても必要であることから、定員数は現状維持とし、既存入所施設の耐震化、老朽化への対応を図る。

当事業では、これら施設等整備を行う社会福祉法人等に対して、施設整備に要する費用の一部を補助することにより、施設等の計画的な整備を推進するものである。

「入所施設中心のサービス」：障害のある人を施設に入所させ、住まいの場を提供するとともに、昼間は介護・訓練や作業を行うなど、24時間、施設の中でサービスを提供する。

「地域生活を支援するサービス」：障害のある人が地域で暮らすために、居宅介護などの訪問系サービス、グループホームなどの住まいの場、生活介護や就労継続支援などの日中活動の場のサービスを提供する。

（参考）障害のある人の数の推移（各年度末現在） （単位：人・％）

| 区 分  | H19     | H20     | H21     | H22     | H23     | 構成比   |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
|      |         |         |         |         |         |       |
| 身体障害 | 121,411 | 122,591 | 123,321 | 124,239 | 124,829 | 65.3  |
| 知的障害 | 21,942  | 22,972  | 23,973  | 25,090  | 26,053  | 13.6  |
| 精神障害 | 32,834  | 35,201  | 37,255  | 39,258  | 40,378  | 21.1  |
| 計    | 176,187 | 180,764 | 184,549 | 188,587 | 191,260 | 100.0 |

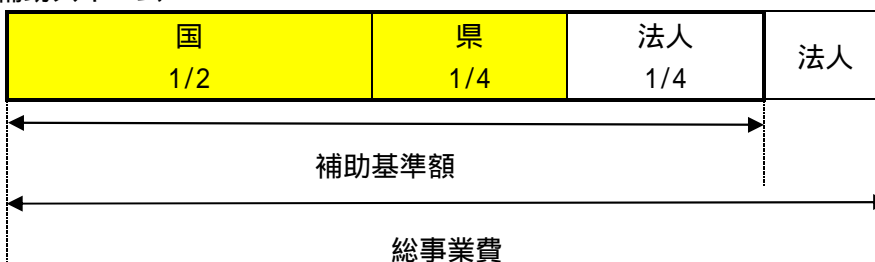
2 補助対象・補助率

(1) 補助対象施設・事業所・・・別紙「補助対象施設・事業所一覧表」のとおり。

(2) 補助率等

| 区 分       |         | 整備内容                                       | 補助率 |     |
|-----------|---------|--|-----|-----|
|           |         |  | 国   | 県   |
| 国庫<br>補助  | 一般整備分   | 創設、改築、大規模修繕等（グループホーム・ケアホーム、居宅介護等）          | 1/2 | 1/4 |
|           | 耐震化等整備分 | 耐震化整備（改築、耐震補強等）（通所のみ）<br>防災拠点スペース整備（入所・通所） |     |     |
| 地域自主戦略交付金 |         | 大規模修繕等（グループホーム・ケアホーム、居宅介護等を除く）             | 1/2 | 1/4 |

< 補助スキーム >



3 整備の考え方

(1) 施設の創設

障害のある人のニーズに応じて策定した「ふじのくに障害者プラン 21」に基づき、計画的に施設等整備を推進する。

ア 障害者プランとの整合性と施設の適正配置の確保

障害保健福祉圏域ごとの整備率を勘案しつつ、障害のある人のニーズを踏まえ地域バランスに配慮した均衡ある整備を進める。

イ 地域生活支援施策の充実

障害のある人の地域生活を支援するため、グループホーム等の住まいの場の確保とともに、日中活動系サービス（生活介護、就労継続支援等）、ショートステイ専用居室などを計画的に整備する。

(2) 施設の改築・修繕

老朽化及び耐震性の状況を踏まえ、真に緊急度の高い施設を優先する。

なお、改築等に当たっては、可能な限りショートステイ専用居室等の在宅福祉サービス提供施設の併設を進める。

(3) 今後3年間の基盤整備計画

| 区 分        | H24 |     | H25 |     | H26 |     | 計     |     |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
|            | 人分  | 箇所数 | 人分  | 箇所数 | 人分  | 箇所数 | 人分    | 箇所数 |
| 生活介護       | 136 | 13  | 119 | 10  | 237 | 15  | 492   | 38  |
| 自立訓練（機能訓練） | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   |
| 自立訓練（生活訓練） | 12  | 3   | 10  | 1   | 0   | 0   | 22    | 4   |
| 就労移行支援     | 20  | 3   | 58  | 5   | 48  | 4   | 126   | 12  |
| 就労継続支援（A型） | 70  | 5   | 30  | 2   | 43  | 4   | 143   | 11  |
| 就労継続支援（B型） | 238 | 17  | 201 | 14  | 210 | 11  | 649   | 42  |
| 療養介護       | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   |
| 短期入所       | 25  | 6   | 11  | 4   | 15  | 6   | 51    | 16  |
| 日中活動系サービス  | 501 | 47  | 429 | 36  | 553 | 40  | 1,483 | 123 |
| 共同生活援助     | 65  | 11  | 49  | 8   | 113 | 14  | 227   | 33  |
| 共同生活介護     | 43  | 7   | 30  | 5   | 42  | 7   | 115   | 19  |
| 居住系サービス    | 108 | 18  | 79  | 13  | 155 | 21  | 342   | 52  |

既存施設を利用する基盤整備もあり、基盤整備のすべてが当助成によるものではない。

4 (1) 事業実績（完成ベース）及び見込み

| 区 分              | H22                                 | H23   | H24(国庫内示ベース)   |
|------------------|-------------------------------------|---|--|
| 生活介護             | ミルキーウェイ(25人・沼津市)                    | 沼津Ⅱの家(25人・沼津市)<br>あおばの家(30人・伊豆の国市)<br>風の森(20人・袋井市)  |  |
| 就労継続支援(B型)       | もくせい 苑(30人・伊豆の国市)                   |   | 牧之原市第2こづみ作業所(25人・牧之原市)<br>サンサン 牧之原(40人・磐田市)                                      |
| 共同生活介護<br>共同生活援助 | (つちはしの家(4人・菊1市)<br>はまの家の家(10人・掛川市)) | (なぎの家男子棟(6人・伊豆の国市)<br>なぎの家女子棟(6人・伊豆の国市)<br>グループホームきらら(6人・御殿場市)<br>陽たまりの家(5人・富士宮市)<br>フレンズ宮本(6人・沼津市)<br>ファミリー宮本(5人・沼津市)) | ケアホーム杉谷沢(6人・御殿場市)<br>キャメロット(10人・藤枝市)<br>牧之原市こづみ寮(7人・牧之原市)<br>牧之原市第二こづみ寮(7人・牧之原市) |
| 障害児入所施設          |                                     |   | 伊豆障害福祉センター(43人・伊豆の国市)  |
| 知的障害児通園施設        |                                     | ガゼルの森(50人・藤枝市)  |  |
| 計                | 2施設(55人)                            | 4施設(125人)   | 7施設(138人)  |

( )は障害者自立支援総合助成事業で実施（H24 当事業に統合）  
は大規模修繕、無印は創設。

## 事業番号 9

### (2) 基盤整備の実績

(単位：箇所数)

| 区 分        | H21.4.1<br>(A) | H24.4.1<br>(B) | H21～23の<br>整備実績<br>(B)-(A)=(C) | H21～23の<br>整備計画<br>(D) | 比較<br>(C)-(D) |
|------------|----------------|----------------|--------------------------------|------------------------|---------------|
| 生活介護       | 63             | 114            | 51                             | 11                     | 40            |
| 自立訓練(機能訓練) | 3              | 1              | -2                             | 1                      | -3            |
| 自立訓練(生活訓練) | 22             | 30             | 8                              | 2                      | 6             |
| 就労移行支援     | 42             | 67             | 25                             | 5                      | 20            |
| 就労継続支援(A型) | 13             | 43             | 30                             | 2                      | 28            |
| 就労継続支援(B型) | 143            | 209            | 66                             | 10                     | 56            |
| 療養介護       | 0              | 6              | 6                              | 1                      | 5             |
| 短期入所       | 102            | 116            | 14                             | 4                      | 10            |
| 日中活動系サービス  | 388            | 586            | 198                            | 36                     | 162           |
| 共同生活援助     | 37             | 65             | 28                             | 59                     | -12           |
| 共同生活介護     | 69             | 88             | 19                             |                        |               |
| 居住系サービス    | 106            | 153            | 47                             | 59                     | -12           |

### (3) サービス提供量の実績

| 区 分              | H24.3 実績<br>(A) | H23 未計画値<br>(B) | 達成率<br>(A)/(B) |
|------------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 生活介護             | 103,611 人日分     | 119,449 人日分     | 86.7%          |
| 自立訓練(機能訓練)       | 698 人日分         | 1,848 人日分       | 37.8%          |
| 自立訓練(生活訓練)       | 3,779 人日分       | 7,772 人日分       | 48.6%          |
| 就労移行支援           | 10,630 人日分      | 17,638 人日分      | 60.3%          |
| 就労継続支援(A型)       | 12,865 人日分      | 5,845 人日分       | 220.1%         |
| 就労継続支援(B型)       | 72,536 人日分      | 78,667 人日分      | 92.2%          |
| 療養介護             | 24 人分           | 351 人分          | 6.8%           |
| 短期入所             | 6,088 人日分       | 8,774 人日分       | 69.4%          |
| 日中活動系サービス        |                 |                 |                |
| 共同生活援助<br>共同生活介護 | 1,516 人分        | 1,450 人分        | 104.6%         |
| 居住系サービス          |                 |                 |                |

「人分」...月間の利用者数

「人日分」...「月間の利用者数」×「一月当たりの平均利用日数」

# 事業番号 9

(別紙) 補助対象施設・事業所一覧表

平成 24 年 4 月 1 日現在

| 区分    | 補助対象                       | サービスの内容   | 事業所数 |
|-------|----------------------------|---|------|
| 日中活動系 | 1 生活介護事業所                  | 入浴、排泄、及び食事等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために行われる必要な援助を行う事業所                                | 114  |
|       | 2 自立訓練事業所<br>(機能訓練、生活訓練)   | 生活訓練(入浴、排泄及び食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練)や機能訓練(理学療法、作業療法、その他必要なりハビリ)等を行う事業所                           | 31   |
|       | 3 就労移行支援事業所                | 一般就労に必要な知識や能力向上のための訓練、求職活動の支援等を行う事業所  | 67   |
|       | 4 就労継続支援事業所<br>(A型、B型)     | 一般就労が困難な方に生産活動や就労に必要な知識や能力向上の訓練等を行う事業所  | 252  |
|       | 5 療養介護事業所                  | 病院における機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び、日常生活上の世話を行う事業所   | 6    |
| その他   | 6 短期入所事業所                  | 短期間の入所をさせて行われる、入浴、排泄及び食事の介護その他の必要な支援を行う事業所  | 116  |
| 居住系   | 7 施設入所                     | 昼間は、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援のいずれかを行い、主として夜間において入浴、排泄及び食事等の介護、生活等に関する相談等を行う施設                         | 77   |
|       | 8 共同生活介護事業所<br>(ケアホーム)     | 主として夜間に共同生活を営む住居で行われる、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、就労先その他関係機関との連絡その他の必要な日常生活上の支援を行う事業所 | 65   |
|       | 9 共同生活援助事業所<br>(グループホーム)   | 主として夜間に共同生活を営む住居において行われる、相談その他の日常生活上の援助を行う事業所   | 88   |
| 障害児関係 | 10 障害児入所施設                 | 障害児が入所し、保護や日常生活の指導及び自立に必要な知識技能の付与を行う施設  | 17   |
|       | 11 児童発達支援事業所               | 未就学の障害児に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行う通所支援の事業所   | 49   |
|       | 12 児童発達支援センター              | 障害児への通所支援のほか、身近な地域の障害児支援の拠点として、地域にいる障害児や家族への支援、地域の障害児を預かる施設に対する支援を実施する施設                            | 11   |
|       | 13 放課後等デイサービス事業所           | 就学している障害児に、授業終了後や休業日に生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流促進等を行う事業所  | 47   |
| 相談系   | 14 一般相談支援事業所、<br>特定相談支援事業所 | 障害者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言のほか、地域移行や地域定着の支援、サービス利用計画の作成、見直し等を行う事業所                                       | 95   |
|       | 15 障害児相談支援事業所              | 障害児や家庭からの相談に応じたり、障害児支援利用計画の作成等を行う事業所  | 16   |
| 訪問系   | 16 居宅介護事業所                 | 障害児や家庭からの相談に応じたり、障害児支援利用計画の作成等を行う事業所  | 276  |
|       | 17 保育所等訪問支援事業所             | 障害児が通う保育所等を訪問し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための支援を行う事業所   | 9    |

事業シート（概要説明書）

1 事業概要

|                     |  |                       |      |       |         |
|---------------------|--|-----------------------|------|-------|---------|
| 予算事業名               | スポーツ産業振興事業費  |                       |      | 部局名   | 経済産業部   |
| 事業開始年度              | 平成 23  | 終了予定年度                | -    | 担当課名  | 商工振興課   |
| 根拠法令                |  |                       |      | 作成責任者 | 課長 渡辺吉章 |
| 総合計画における位置付け（主たるもの） | 大分類（戦略）  | 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造 |      |       |         |
|                     | 中分類（戦略の柱）  | 次世代産業の創出              |      |       |         |
|                     | 小分類（施策の方向）   | ふじのくに新産業創出プロジェクトの推進   |      |       |         |
|                     | 細分類（施策群）   | スポーツ産業の振興             |      |       |         |
| 目的（何のために）           | 地域産業の活性化を図るため、サービス産業の振興の一環として、スポーツ関連資源が豊富な西部地域を中心に、地域企業等が主体となり、大学や市町と連携して新たなスポーツ事業を創出する。   |                       |      |       |         |
| 対象（何を対象に）           | 企業や大学、スポーツクラブ、商工団体等  |                       |      |       |         |
| 実施方法                | 直接実施   | 業務委託                  | 指定管理 | 補助金等  | その他     |
|                     | 実施主体（静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会）   |                       |      |       |         |
| 事業内容（手段・手法など）       | 1 事業の目的<br>本事業は、地域におけるスポーツ関連企業や大学、市町が相互に協力・連携し、スポーツ参加・体験型旅行商品やスポーツ用品開発などの新たなスポーツ事業を生み出し、地域産業の活性化を図ることを目的にしている。   |                       |      |       |         |
|                     | 2 県の役割<br>地域におけるスポーツ関連企業や大学、市町の連携による新たなスポーツ事業を創出するため、その活動母体となる協議会の運営を支援する。   |                       |      |       |         |
|                     | 3 これまでの県の支援実績<br>(1) 平成 23 年度<br>23 年 11 月にスポーツ産業振興のためのシンポジウムを開催し、県西部地域をモデル地域とした新たな協議会設立の機運を醸成するとともに、24 年 3 月に県及び産学民官 8 社・団体を発起人とした静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会の設立を支援した。<br>(2) 平成 24 年度<br>24 年 6 月に開設した協議会事務局の運営支援を通じて、新たなスポーツ事業を創出するための会員企業主体によるグループ活動事業等を支援している。 |                       |      |       |         |
|                     | 4 これからの県の支援内容<br>(1) 西部地域<br>協議会の自立に向けて、会員企業の獲得に努めるとともに、会員企業によるスポーツビジネス事業化のための企画を実施していく。<br>(2) その他地域<br>西部地域におけるモデル事業を検証しながら、県内他地域の要望を踏まえたスポーツ産業振興事業のあり方について、検討していく。  |                       |      |       |         |
| 事業の必要性（廃止した場合の影響）   | 新たな分野であるスポーツ産業の振興を図るためには、地域のスポーツ関連情報を有する産学民官の連携による事業実施が必要不可欠である。   |                       |      |       |         |
| これまでの改善・見直しの状況      | 6 月 14 日に協議会の活動拠点としての事務局を設置し、会員企業グループ活動を主体とした事業を実施している。  |                       |      |       |         |



2 事業費・人件費（インプット）

（単位：千円）

| 区 分       |         | H22 決算 | H23 決算 | H24 予算 |
|-----------|---------|--------|--------|--------|
| 事業費       | 事業費計    | -      | 4,856  | 5,000  |
|           | 財源内訳    |        |        |        |
|           | 国支出金    |        |        |        |
|           | 地方債     |        |        |        |
|           | その他（ ）  |        |        |        |
|           | 一般財源    |        | 4,856  | 5,000  |
| 人件費       | 職員数（人工） | 人      | 0.9人   | 1.3人   |
|           | 人件費計    | -      | 6,160  | 8,970  |
| 総コスト（ + ） |         | -      | 11,016 | 13,970 |

3 事業の主たる活動指標（アウトプット）・効率指標（単位当たりコスト）

| 区 分                            | 指 標      | 単位   | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込 |
|--------------------------------|----------|------|--------|--------|--------|
| 活動指標                           | 協議会の設立準備 | 件    |        | 1      | -      |
|                                | 普及啓発     | 件    |        | 1      | -      |
|                                | 協議会の運営   | 件    |        | -      | 1      |
| 効率指標<br>（単位当たりコスト）<br>コスト/活動指標 | 協議会の設立準備 | 千円/件 |        | 8,988  | -      |
|                                | 普及啓発     | 千円/件 |        | 2,028  | -      |
|                                | 協議会の運営   | 千円/件 |        | -      | 13,970 |

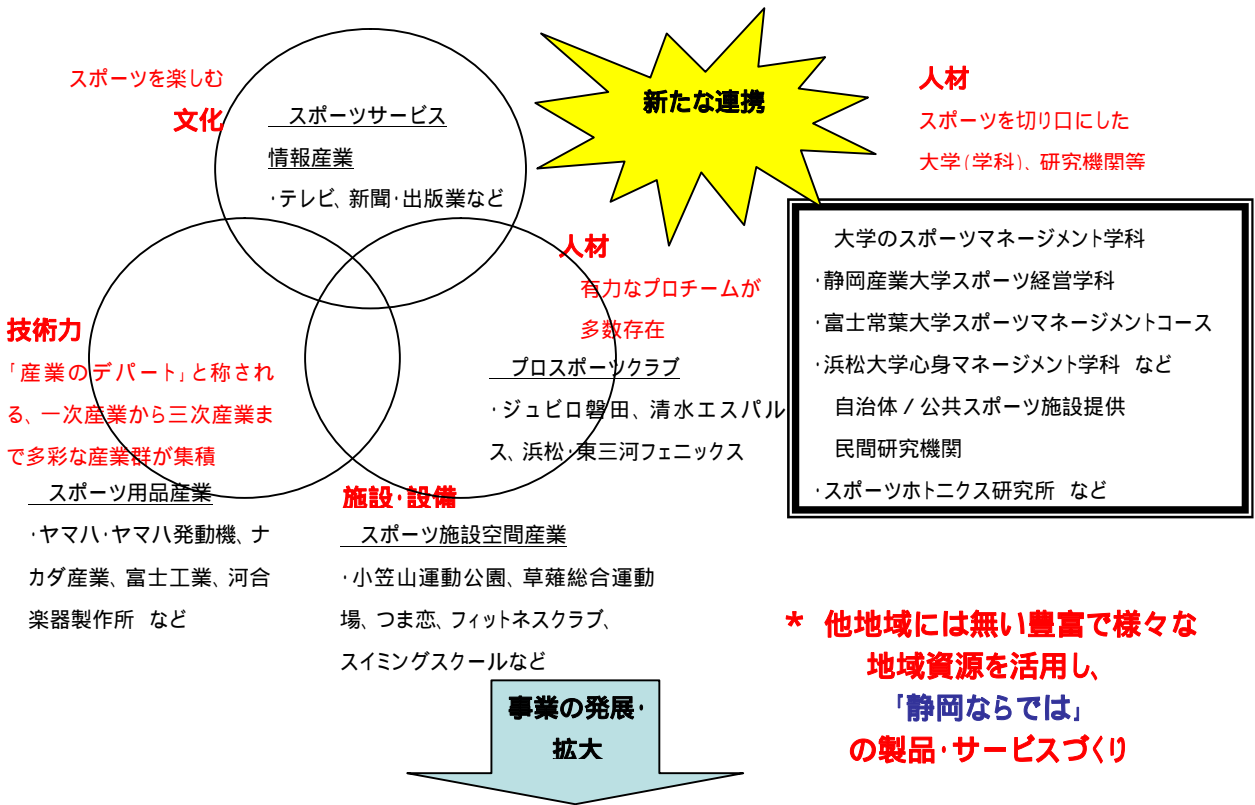
4 事業の主たる成果指標（アウトカム）

| 区 分             | 指 標                                     | 単位 | H25 目標                 | H22 実績 | H23 実績 | H24 見込        |
|-----------------|---|----|------------------------|--------|--------|---------------|
| 成果指標            | 新産業分野の取組件数<br>（新成長分野の経営革新<br>計画の新規承認件数） | 件  | H22～H25<br>累計 400<br>件 | 78     | 86     | 100           |
| 成果目標を<br>補完する指標 | スポーツ産業地域プラッ<br>トフォームへの参画企業              | 社  | 年間 5 社<br>以上増          | -      | 8      | 年間 5 社<br>以上増 |

5 自己評価

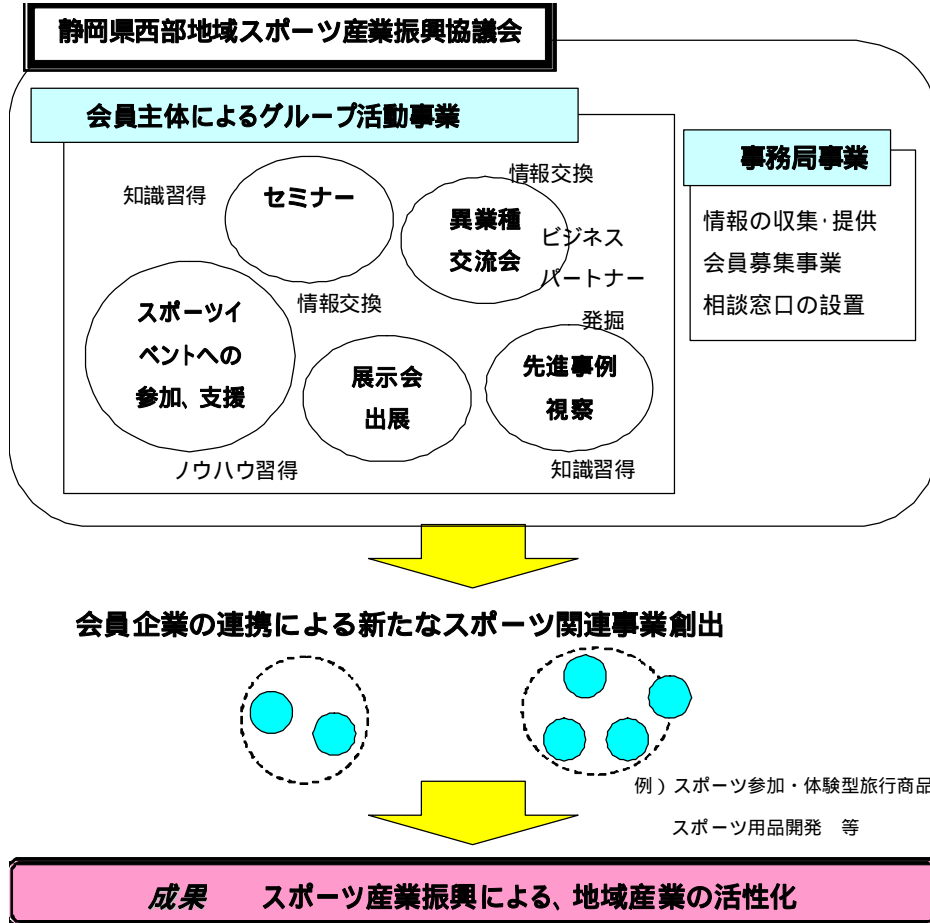
| 区 分                | 内 容  |   |
|--------------------|--|---|
| 事業の自己評価            | 活動指標の実績<br>に対する評価、<br>今後の見通し   | 西部地域におけるスポーツ産業振興の機運を醸成することで、平成 24 年 3 月に、産学民官による「静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会」が設立された。今後は、協議会会員企業によるグループ活動を通じてスポーツ事業の創出が期待される。 |
|                    | 単位当たりコスト<br>の削減は図られ<br>ているか  | 協議会運営に際し、参加する産学民官それぞれの役割分担や経費負担を明確にすることで、コストの削減を図る。   |
|                    | 活動指標は成果<br>指標進捗へ寄与<br>しているか  | 協議会に対する運営支援により、新成長分野であるスポーツ産業において、会員企業等による新成長分野における経営革新計画の新規承認が期待される。   |
| 今後の方向性や<br>改善方法、課題 | 協議会の自立に向けて、会員企業の獲得に努めるとともに、西部地域におけるモデル事業を検証しながら、県内全域でのスポーツ産業振興事業のあり方を検討していく。 |   |

【県内スポーツ産業の状況と目指す方向】



目指す姿：スポーツ産業を静岡県における産業の1機軸に！

【静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会の事業フロー図】



## 【静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会の概要】

## 1 設立目的

静岡県西部地域の特色あるスポーツ関連企業や施設等の地域資源を活用し、「スポーツ産業」という新たな産業をこの地域に根付かせ、ひいては地域経済の活性化や地域の発展に寄与することを目的に、平成 24 年 3 月 23 日、県及び産学民官 8 社・団体を発起人として設立した。

## 2 概要

|       |  |
|-------|--|
| 名称    | 静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会<br>略称：biz x spo = (ビズスポ)  |
| 設立日   | 平成 24 年 3 月 23 日 (金)   |
| 会員    | 会の趣旨に賛同する県西部地域の民間企業、金融機関、民間団体、行政機関、産業支援機関、個人等から広く参加を募る。  |
| 年会費   | 法人会員：企業その他の団体（事業を営む個人を含む）<br>年会費 大企業 1口3万円で2口以上<br>中小企業及び事業を営む個人 1口3万円で1口以上<br>個人会員：年会費 1口1万2千円で1口以上                                   |
| 発起人   | 大坪 檀（学校法人新静岡学園理事長） 他   |
| 磐田事務局 | 場所：静岡産業大学SSU磐田駅前学舎（磐田市中泉 497-1）<br>時間：週4日。（火）～（金）10:00～17:00<br>イベント開催時には（土）（日）も対応<br>業務：スポーツ産業振興に係る総合相談窓口、スポーツ産業情報の収集・提供、協議会各種会議の運営など |

## 3 役員（設立発起人）

| 団体・会社名                                | 職       | 氏名（敬称略） | 役員  |
|---------------------------------------|---------|---------|-----|
| 学校法人新静岡学園                             | 理事長     | 大坪 檀    | 会長  |
| (株) ヤマハフットボールクラブ                      | 代表取締役社長 | 吉野 博行   | 副会長 |
| 磐田信用金庫                                | 理事長     | 高木 昭三   | 副会長 |
| 羽立工業 (株)                              | 代表取締役   | 中村 哲也   | 理事  |
| (株) 東海トラベル                            | 取締役会長   | 田代 幸三   | 理事  |
| (有) フジクラ・コミュニケーションズ<br>(サッカークラブ掛川JFC) | 代表取締役   | 伊藤 薫    | 理事  |
| 浜松総務部 (有)                             | 代表取締役   | 木村 玲美   | 理事  |
| 静岡県                                   | 商工業局長   | 望月 誠    | 副会長 |
| (株) 浜名湖国際頭脳センター                       | 代表取締役社長 | 森永 春二   | 監事  |

## 4 会員の内訳（平成 24 年 7 月末現在）

| 種別          | 社・団体数 |    |
|-------------|-------|----|
| 法人会員        | 大企業   | 3  |
|             | 中小企業等 | 16 |
| 個人会員        | 2     |    |
| 賛助会員（行政機関等） | 18    |    |
| 計           | 39    |    |

5 平成 24 年度事業計画

グループ活動事業（事業費 1,480 千円）

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 1 異業種交流を拡大するためのセミナー開催事業 | スポーツツーリズムの現状、スポーツ用具市場の動向など、テーマ性を持ったセミナー・異業種交流会を開催する。   |
| 2 スポーツイベントへの参加、支援等事業    | 県西部地域で開催されるスポーツ関連のイベントについて、協賛やボランティア等の形での参加や支援を行う。<br>また、協議会会員が主催・協賛するイベントについても、同様な形で参加するとともに、より積極的な支援を実施する。 |
| 3 展示会への会員企業出展支援事業       | 販路開拓や異業種企業とのマッチングを目的とした、会員企業の県内外の展示会等への出展を協議会として支援する。  |
| 4 先進事例視察事業              | 県内外のスポーツ産業振興に係る先進地の視察を実施する。  |

事務局事業（事業費 3,770 千円）

|                   |  |
|-------------------|--|
| 1 情報の収集・提供、会員募集事業 | <p>(1) ホームページの作成、情報発信<br/>スポーツイベントの開催カレンダーや、当地域内に所在するスポーツ関連施設等の情報を発信するホームページを作成・運営する。<br/>ツイッターやフェイスブック等、ソーシャルネットワークサービスを活用し、会員に向けてタイムリーな情報を提供するとともに会員相互の情報の共有化を図る。</p> <p>(2) 協議会リーフレットの作成及び配布<br/>当協議会の活動内容を周知するためのリーフレットを作成する。</p> <p>(3) 新規会員の募集等<br/>企業、団体等に加入の働きかけを行うとともに、マスコミや行政の広報紙、経済団体の会報などパブリシティを活用した認知度アップに取り組む。</p> |
| 2 管理・運営事業         | <p>(1) 相談窓口の設置<br/>事務所に相談窓口を設置し、来所、電話、メール等による各種相談に対応する。</p> <p>(2) 各種会議の運営<br/>協議会の総会、理事会等を開催するとともに、部会活動を支援するため、部会会員が情報交換することを目的とした会議を支援する。</p>  |

6 平成 24 年度事業予算

5,250,000円

\* 県負担金 4,209千円、会員収入等 1,041千円

メモ

Lined area for notes consisting of 25 horizontal dashed lines.